

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840



CONTENTS

ガバナー月信の発刊にあたり	02
プロフィール	
RI 会長プロフィール	03
ガバナープロフィール	04
ガバナーエレクトプロフィール	05
ガバナーノミネートプロフィール	06
メッセージ	
ガバナーメッセージ「母子と健康」	07
竹中 隆ガバナー・森 末廣直前ガバナー エールの交換	08
2025 年規定審議会レポート 1	10
各種報告 (森年度事業)	
第 2 回青少年交換学生ホストクラブオリエンテーション	12
米山記念奨学生指定校選定会議	13
米山学友会総会	14
第 5 回ガバナー諮問委員会	15
IA 国際交流事業報告会	16
各種報告 (竹中年度)	
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	17
ガバナーエレクトメッセージ	18
講演要旨	23
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー各分科会報告	26
第 4 回青少年交換委員会	41
地区内クラブ奉仕事業のご紹介 (前橋西 RC)	42
お知らせ	
「卓話・研修・出前サービス」実施のご案内	43
「地区大会」のご案内	46
地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内	46
ガバナー公式訪問要領・ガバナー公式訪問日程表	47
地区主要行事予定表	51
周年行事・IM 開催予定	
コーディネーター NEWS	54
出席報告・My Rotary 登録率	56
新会員紹介	58
新会員入会実績報告 (5 月末日現在)	59
ガバナーより一言	60
ロータリーの友「投稿規定」	61
ガバナー事務所よりお願い	62

ガバナー月信の発刊にあたり

国際ロータリー第 2840 地区
2025 - 2026 年度
ガバナー 竹中 隆

国際ロータリー2840地区内の会員の皆様、今年度国際ロータリー第2840地区のガバナーを務めさせていただきます竹中 隆(高崎北ロータリークラブ)です。一年間、地区内クラブの活動の充実、地区内会員のクラブライフ、ロータリーライフの充実のために、クラブ奉仕があるように、私は、ロータリアンへの奉仕を献身的に取り組んでまいりますので、よろしく願い申し上げます。

皆様ご存じの通り、前年度末に国際ロータリー会長エレクト、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏の突然の辞任というRIの歴史でも極めてまれな事態が発生しました。RIは、定められた手続きに則り、前年度内に後継のフランチェスコ・アレツツォ氏(ラグーザ・ロータリークラブ/イタリア)を指名し、本年度を迎えました。

後継会長の決定とともに、会長メッセージはRI理事会の承認通り、Unite for Good「よいことのために手を取りあおう」が引き続き使用されることとなりました。

3月の会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナーでお話させていただき、地区会員必携にも掲載させていただいたRI会長メッセージ並びにその解釈には変更はございません。

フランチェスコ会長からは正式なメッセージはまだ発信されていませんので、情報が届き次第お伝えさせていただきます。

マリオ氏とは、国際協議会前に日本でガバナーエレクトだけを対象にしたミーティングで、直接お考えを伺いました。国際協議会では、6日間に渡り薫陶を受けただけでなくパーティーもご一緒させていただきました。これからの一年間一緒にロータリーを考え、行動していく仲間と言ってもよい存在でした。マリオ氏の突然の辞任は、私を大きく落胆させ、RIに対する不信感さえ感じさせたものでした。

フランチェスコ氏の会長就任が決まってもどこかモヤモヤした気持ちでした。ですが、二人の会長から、Unite for Goodの理解、その推進の考え方をお聞かせいただくと、現在は気持ちを切り替えています。

6月末にカルガリーで開催された国際大会の日本人朝食会で、フランチェスコ氏のショートスピーチがありました。イタリアの方ということもあってか、親しみやすい方でした。

国際大会の報告は次号の月信となりますが、閉会セッション

で、ステファニー前会長とフランチェスコ会長が、マリオ氏の貢献に触れられたことが、私としては非常にうれしく感じました。

さて、RI会長が誰になっても、私たち2840地区の活動は進み続けます。

Unite for Good「よいことのために手を取りあおう」と、マリオ氏が強調した“行動すること”、“会員増強”とそれを推進するための3つのキーワード。革新、継続性、パートナーシップを意識し活動いたしましょう。

詳細には触れられませんが、フランチェスコ会長は国際大会閉会式で、Pilio(ポリオ)、Membership(会員増強)、Peace(平和)を活動の中心に据えると宣言されました。

ロータリーでは近年、平和についてとりあげる事が多くなっています。しかし、会員にとっては扱いづらいというか、馴染みのないテーマだと思います。平和は、地域における具体的な活動、プロジェクトにはなりづらいものですが、会員同士、クラブで取り上げていただき、語り合っていたくのも、皆様のロータリー活動の幅を広げるきっかけとなると思います。

ガバナー月信は、会員の皆様へ地区内の活動の前月までの報告と、次月以降の予定の発信が主な目的になっています。加えて、皆様の活動、クラブの活動へのインスピレーションを刺激するようなキーワード、情報を取り上げてまいりたいと考えています。月信で得た情報を活用いただき、クラブで、会員同士で、ロータリーを語っていただけると幸いです。

どうぞ、ガバナー月信をご購読のほど、よろしくお願い申し上げます。



RI 会長プロフィール

2025-2026年度 会長
イタリア
ラグーザ・ロータリークラブ

フランチェスコ・アレツォ

Francesco Arezzo



理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと（人種、宗教、職業を超えて）をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

アレツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラグーザ県のNational Association of Italian Dentistsの副会長であり、National Trust for Italyの創設者であり、同団体で7年間ラグーザ県を代表しました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。

30年以上のロータリー会員であるアレツォ氏は、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任したほか、ロータリー財団のメジャードナーおよびベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は、観光業界の起業家で、お二人には二人のお子さんがいます。

ガバナープロフィール

2025-2026年度 ガバナー
高崎北ロータリークラブ

竹中 隆

TAKASHI TAKENAKA



略歴

生年月日 1961年12月24日
住 所 群馬県高崎市
職 業 株式会社 竹中組 代表取締役社長
学 歴 早稲田大学 政治経済学部 卒業
公 職 2014年～ 群馬経済同友会 幹事
2019年～ 一般社団法人 高崎法人会 監事
2021年～ 一般社団法人 群馬県経営者協会 常任評議員
2023年～ 一般社団法人 群馬ニュービジネス協議会 副会長

ロータリー歴

【クラブ】 1996年7月 高崎北ロータリークラブ 入会
2012-2013年度 高崎北ロータリークラブ 幹事
2017-2018年度 高崎北ロータリークラブ 会長
【地 区】 2004-2005年度 社会奉仕・環境保全委員会 委員
2010-2011年度 IT委員会 委員
2011-2012年度 地区副幹事（安藤ガバナー年度）
2019-2020年度 国際大会推進委員会 副委員長
2020-2021年度 国際大会推進委員会 委員長
2021-2022年度 公共イメージ委員会 委員長
2022-2023年度 国際大会推進委員会 委員長
2023-2024年度 ガバナーノミネー
地区戦略計画委員会委員、地区三役員連絡会議議員
2024-2025年度 ガバナーエレクト
地区運営連絡会議副議長
地区戦略計画委員会副委員長、会員組織強化委員会副委員長

ロータリー財団

メジャードナー

ガバナーエレクトプロフィール

国際ロータリー第2840地区
2025-2026年度 ガバナーエレクト
安中ロータリークラブ

三好 建正

KENSEI MIYOSHI



略歴

生年月日 1970年12月1日
住 所 群馬県安中市
職業分類 設計士
職 業 美と建築・三好設計事務所 設計士

ロータリー歴

【クラブ】 2014年1月28日 安中ロータリークラブ 入会
2016-2017年度 安中ロータリークラブ 幹事
2019-2020年度 安中ロータリークラブ 会長
【地 区】 2020-2023年度 青少年交換委員会 委員
2023-2024年度 第6分区ガバナー補佐、審議会立法案検討委員会 委員
会員組織強化委員会 委員

ロータリー財団

マルチプルポール・ハリス・フェロー 1回目

米山記念奨学会

米山功労者

ガバナーノミニープロフィール

国際ロータリー第2840地区
2025-2026年度 ガバナーノミニー
前橋北ロータリークラブ

湯澤 晃

KOU YUZAWA



略歴

生年月日 1972年9月28日
住 所 群馬県前橋市
職 業 弁護士
現 職 湯澤晃法律事務所 所長
学 歴 早稲田大学 政治経済学部 卒業
公 職 2010年4月～2011年3月 群馬弁護士会 副会長
2014年～2020年 前橋市教育委員
2023年4月～2024年3月 群馬弁護士会会長, 関東弁護士会 連合会常務理事
群馬県男女共同参画推進委員, 日本司法支援センター群馬事務所副所長,
群馬大学附属小学校 PTA 会長, 同中学校 PTA 会長,
前橋市公務災害審査委員 (現職), 群馬県いじめ問題等対策委員会委員 (現職)

ロータリー歴

【クラブ】 2008年1月7日 前橋北ロータリークラブ 入会
2010-2011年度 前橋北ロータリークラブ 幹事
2019-2020年度 前橋北ロータリークラブ 会長
【地 区】 2022-2023年度 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会 副委員長

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1回目

ガバナーメッセージ「母子と健康」

皆様ご存じの通り、ロータリーでは、「ロータリー特別月間」が定められています。

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、RI理事会が指定した月間のことです。なお9月、10月には日本独自の月間テーマが設定されています。また、特別週間も定められています。

月信のガバナーメッセージは、設定の目的に則って、その月の特別月間、特別週間を取り上げてまいります。

年度当初の7月は「母子の健康」月間です。

2014年10月RI理事会にて4月の特別月間に決定され、2023年に4月が新たに環境月間として決定されたため7月に変更されました。

5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率削減、そしてより多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修などを強調する月間とされています。

では、世界では母子の健康に関してどのようなことが行われているのでしょうか。

- ・ “持続可能なプログラム”として、ナイジェリアでは、適切な研修を受けた医者、看護師、助産師、医療従事者によるケアをすべての女性が受けられるよう支援
 - ・ ブラジルでは、“幼い命を救う医療支援”として、日本とブラジルのクラブがロータリーの補助金を利用して、新生児の命を救う機器を病院に提供
 - ・ 清潔な出産キットの配布、安全な出産方法に関する保健従事者の研修など、妊婦が安全な環境で出産できるよう支援
 - ・ 母乳に関する母親への指導、予防接種と定期健診の推進、防虫加工の蚊帳の配布など、赤ちゃんを守るための支援
- 等があるようです。

大きく分けると、「医療器具、医薬品、物資の提供」「検診、治療の支援」「医療体制の整備、構築への支援」「母親への指導、啓発活動」でしょうか。

これらは、ロータリーが世界で活動している奉仕活動としてイメージしやすいものです。グローバル補助金を活用したプロジェクトとしての可能性があるでしょう。

日本における出産前後の母子の死亡は激減すると同時に、早期新生児死亡率も同様に激減しており、日本の周産期医療レベルは今や世界最高水準に達しています。

そのため、近年最も深刻な問題は、母親の出産後の子育て環境、子供の貧困状態、乳幼児から学童にまでおよぶ虐待、不登校・引きこもりなどでしょう。

原因としては、格差の拡大、貧困の増大、非正規労働者の増加、ひとり親家庭の増加などが思い浮かびます。

では、日本、私たちの地域では、母子の健康のために何が求められているのでしょうか。

皆さんのクラブでは、「子ども食堂への支援」「フードバンク活動」「子供の居場所づくり」等が子どもへの具体的なプロジェクトとして既に実施されています。

地域では、他に何が求められているのでしょうか。地域の状況、母子の置かれている環境を把握し、必要とされ、よりインパクトをもたらすプロジェクトは何でしょう。

他のクラブ、他の地区の事例を参考として、それぞれのクラブで、会員が語り合い、可能性を検討してみてください。

そのリソースは、2840地区ホームページ、My Rotary、ロータリー行動グループの「母子の健康のためのロータリー行動グループ」等にがあります。

母子の命を救い、不安なく過ごせる環境を整えるために、皆で手を取り合ってまいりましょう。



ガバナーエールの交換

森 末廣直前ガバナーへ

ガバナー 竹中 隆

一年間ガバナー、大変お疲れ様でした。ノミニー+ノミニーデジグネートの準備期間を含めると、3年になりますね。始まってしまえば、アツという間に駆け抜けてしまったような感じでしょうか。

森さんのことを「直前ガバナー」と呼びするのもなんか変な感じです。

私がデジグネートに決まった時から、ご自身の次のガバナー候補として丁寧に接していただきました。

変な言い方もかもしれませんが、ロータリアンの森さん以外にも、「森エンジニアリング」創業者としての一面を感じさせていただくこともありました。エンジニアから創業、組織の代表としての運営、企業経営。企業の詳細は存じ上げませんが、私には無い、創業者としてのきめ細やかな組織運営をなさる姿を見せていただきました。

穏やかなお人柄に加え、目標を定め、達成に向けて組織をまとめ上げられる実行力は、ロータリーの地区運営はもとより、私の会社へ対する考え方にも大きなヒントをいただいています。私は竹中組の6代目として組織を継ぎ、繋ぐことを意識しすぎていたかもしれませんが、森さんの創業者としての理念に触れさせていただき、経営者として新たな創業に取り組む必要を感じています。まさに、RI 会長エレクトであったマリオ氏が述べられた、革新と継続性であります。

新年度開始直前に RI 会長エレクトが辞任するという未曾有の事態が起きてしまいました。7月になってもフランチェスコ・アレツォ RI 会長からのメッセージは届いていません。このような状況だからこそ、ロータリーの原点に立ち戻り、ロータリアンはいかにあるべきかを、会員と一緒に求め続けたいと考えます。ロータリー創立の理念を再確認、再認識し、皆で共有してかなければならない、状況だとも言えます。

ぜひとも、創業され、組織をまとめ上げてこられた森さんのご経験と知見によるアドバイスをいただきたいと考えています。

ガバナーという役職を全うされ、責任を果たされた森さん。

繰り返しになりますが、本当にお疲れ様でした。

引き続き、ご厚誼を賜りますようお願い申し上げますとともに、2840 地区発展、地区内会員のためにご協力のほど心よりお願い申し上げます。

竹中 隆ガバナーに向けて

直前ガバナー 森 末廣

今年度ガバナーの竹中氏は、鳶業として160年の歴史と伝統を誇る会社の代表者で高崎を本拠地にし、その発展と共に歩み、地歩を固めて参りました。地域に必要な中堅建設業の雄としてこの地に君臨し成長を遂げて、1996年に高崎北ロータリーに入会以来、数多の役職を歴任し今回、満を持してガバナーの就任となりました。企業人としての経験を活かしロータリーでの見聞を高め、2840地区の新たなリーダーとして2025年度を率いることとなります。

国際ロータリー2025-2026年度RI会長であるフランチェスコ・アレッツォ氏（マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏）は、ロータリーの世界的活動に感銘を受け「Unite for good」「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを発信されました。あわせて「ロータリーの会員は行動人です。私たちは、よいことのために手を取りあいます。」と定義され会員増強の注力することを強調され、「革新」「継続性」「パートナーシップ」のキーワードを示されました。

ロータリーの思想、目的としてロータリアン一人一人の心に問いかける“四つのテスト”や「超我の奉仕」、「五つの中核的価値観」を共有して、新しい環境の変化に適応した行動を取り入れるとき、まさに今は変革の時であります。竹中ガバナーは2025 - 2026年度において会員へのメッセージとして「ロータリーを語ろう」を掲げておられます。そして、その目的達成の為、地区として、クラブの視点、会員の考えを理解、共有しクラブの会員にとって、価値ある存在となるよう双方向の情報交換を行ないロータリアンへの奉仕を献身的に行うと定義されました。

この竹中氏の行動力と熱い決意というものは、地区の大きな力となり、大いなる発展につながるものと思われまます。皆様がその方針を理解し、共に邁進することを心より願い、若竹のように天に伸びゆくような力強さと、しなやかな思案をもつ新たな指導者に対してバトンを渡すことで2840地区の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。



【COLレポート】

ロータリーの未来は私たちが創る

連載 2025年規定審議会レポート1

審議会地区代表議員・審議会立法案検討委員会委員長
 パストガバナー 本田 博己（前橋ロータリークラブ）

2回目の規定審議会に参加して

去る4月13日～17日（5日間）、3年に1度の規定審議会が米国シカゴのホテルハイアットリージェンシーシカゴにて開催されました。今回私は、審議会地区代表議員として、前回に続き2回目の参加でした。

前回2022年は、コロナ禍の中、オンラインによるバーチャル参加も認められるハイブリット開催という異例の事態でした。日本からの代表議員34人（各地区1人）のうち、オンライン参加は25人、リアル参加は私も含め9人で、体力的にも精神的にも大変な思いをしました。しかし、2回とも現地出席できたことは、今となっては貴重な経験となりました。

私は、これまで、2013年、2016年、2019年は、当時の審議会代表議員 曾我隆一パストガバナーの補欠議員として、そして前回2022年と今回2025年、審議会代表議員として、過去5回の規定審議会に立ち会ってきました。

その経験と実感を含め、これから今回の規定審議会のハイライトや成果・課題について、5回（予定）にわたって、このガバナー月信の紙面をお借りしてレポートしてゆきます。

2025年規定審議会 基礎データ

現在のロータリー地区数は、世界に515地区あるのですが、その内502地区に代表議員がいます。今回実際に参加した代表議員は、496人でした。

その内、初めて任期を務める代表議員は371人（74%）、2期目の任期を務める代表議員は91人（18%）、3期目以上の任期を務める代表議員は40人（8%）でした。初参加の代表議員が7割以上というのは、毎回のことで、規定審議会の審議の質が高まらない原因の一つとなっています。

2025年規定審議会：主な決定事項

規定審議会終了後、国際ロータリー（RI）が、今回の主な決定事項として、以下の4件を取り上げています。

1. 会員が国際ロータリーに支払う人頭分担金を増額する（制定案 25-49：人頭分担金を増額する件）＊前回に続き、これから3年間の大幅増額案が採択されました。来月詳しく報告します。
2. 新クラブの加盟に必要な会員数を15人に引き下げる（制定案 25-07：新しいクラブの加盟に必要な会員数を減らす件）＊これまで、クラブ創立時の必要会員数は20人でしたが、それを15人に引き下げクラブ創立を促進しようとするものです。
3. 地区大会を開催しないという選択肢を地区に与える（制定案 25-72：地区大会を毎年開催する要件を削除する件）＊ガバナーの判断で、地区大会の開催が任意となった。
4. RIBI、ニュージーランド、オーストラリアの地区での試験的実施のほかに、より多くのガバナンスモデルの試験的実施を可能にする（制定案 25-34：試験的プロジェクトを通じた監督に関する規定を改正する件）＊前回決まった、RIBI およびゾーン8（オーストラリア・ニュージーランド）以外の地域もガバナンスモデルの試験的実施が可能となった。

次回から、人頭分担金の大幅増額、2840 地区提案の制定案の結果、その他の注目すべき決定、今回の成果と次回 2028 年に向けての課題、等について具体的にレポートしてゆきます。

『ロータリーの友』2025 年 6 月号にも規定審議会の特集（14～24 ページ）が掲載されていますので、お目通しいただければ幸いです。

これからクラブが対応すべきこと

「規定審議会」という言葉を聞きなれないという方は多いのではないのでしょうか。

規定審議会は 3 年に 1 度、全世界のすべての地区から代表議員が参加して米国シカゴで開催されます。規定審議会は、ロータリーの唯一の立法機関で、組織規定（国際ロータリー定款・国際ロータリー細則・標準ロータリークラブ定款）を改定する制定案が審議され、採択されれば、規定審議会後の 7 月 1 日より有効となります。私たちの活動もこの改定に従う必要があります。規定審議会での組織規程の改定の決定を反映した『手続要覧』（PDF）が 3 年に 1 度発行されます。（今回の改定が反映された『2025 年手続要覧』の日本語版発行は 12 月ごろの予定です。）

皆さんのクラブ定款の土台となる「標準ロータリークラブ定款」の改定部分を明示した暫定版（今回規定審議会の決定事項を反映した）をすでにクラブ会長・会長エレクト宛に送付（6 月 12 日付）しています。この 7 月 1 日からはこのクラブ定款が有効となりますので、現況報告書の作成時に、必ずチェックしてください。

ロータリーの組織規程は私たちが変えることができる

規定審議会が私たちにとってなぜ重要なのかといえば、クラブや地区が組織規程を改定する制定案を提出できることです。規定審議会が私たちが提案した制定案が採択されれば、組織規定が改定されます。つまり、私たちの意思でロータリーの方針や方向性は変えてゆくことができるのです。

国際ロータリー理事会は規定審議会ですべての制定案を提出し、そのほとんどが採択されています。国際ロータリーの方針は、次々と組織規程になって、私たちの活動もこれに従うことが求められます。近年国際ロータリーは、中央集権的で画一的な運営の傾向を強めており、必ずしも世界の多くのクラブが直面する課題やニーズに的確に対応しているとは言えない方針や施策も増えてきているように感じます。

国際ロータリー本部のガバナンスを監視し評価しよう

業務執行機関である国際ロータリー本部が健全なガバナンスを維持することを監視したり、方針や方向性を評価・改善・修正したりするのが、ロータリーの唯一の立法機関である規定審議会の最も重要な役割であると考えます。

ロータリーの未来を国際ロータリー本部にすっかり委ねるのではなく、私たち一つ一つのクラブの主体的な意思を、規定審議会を通じて反映させてゆくことが大切です。第 1 回目のレポートのタイトル「ロータリーの未来は私たちが創る」には、そういう思いが込められています。



【森年度事業】

第2回 青少年交換学生ホストクラブオリエンテーション

- 日 時： 2025年5月25日 14:00～16:00
 - 場 所： 前橋問屋センター会館 春夏の間
 - 出席者： ホストクラブ 計11名（会長、次年度担当委員長、カウンセラー）
 渋川 RC： 木暮香峰子次年度会長、鈴木 実次年度担当委員長 横手誠二カウンセラー
 高崎シンフォニー RC： 齋藤達雄次年度会長、安藤 淳カウンセラー、
 高崎 RC： 松本武志次年度担当委員長、中村ひろみカウンセラー、
 安中 RC： 櫻井雅寿次年度担当委員長、相川北斗今年度委員長
- 地区 計10名
 竹中隆ガバナーエレクト、吉井宏文青少年交換委員長、小中和子委員、小暮健一委員、
 久保貴則委員、坪井良樹副幹事、新井聡次年度青少年交換委員長、飯島芳臣次年度委員、
 前原信之次年度委員、小林晴彦次年度副幹事
- 報告者： 地区副幹事 坪井 良樹（桐生 RC）

— 次 第 —

1) 委員長挨拶

- ・ 吉井宏文青少年交換委員長：ホストクラブとし手続きや申請方法等についてご理解とご説明をさせていただく旨の挨拶がなされた。
- ・ 竹中隆ガバナーエレクト：受入いただくクラブの皆さん。カウンセラーさんだけの負担にならないように皆でサポートいただきたい。交換プログラムの意義や良さが周囲のクラブへ波及していけるようにご理解を伝えて行って欲しい。



2) 長期交換学生の経費請求について…経費請求書 EXCEL 後日メールにてクラブにお送りします。

- 制服代、体操着、運動靴、通学費用（自転車は上限3万円）
 学生小遣い（1万円/月）ホストファミリー補助費（5万円/月）
- ・ 吉井宏文青少年交換委員長：新たな様式を新井次年度委員長が作っておりますので、事務局より展開します。

3) 受入学生の手続きと注意事項

- 1 マイナンバーの通知カードと個人カード（IBS 入出国時の手続き）WORD 形式
 - 2 ホストファミリーのための青少年交換の手引き WORD 形式
 - 3 3 ホストファミリーに関する Q & A（表紙付き）WORD 形式（伊勢崎5 RC ホストファミリー協会資料）
- ・ 吉井宏文青少年交換委員長：3ヶ月以上日本に滞在する場合は、在留カードを申請する。来日学生が役所で転入届を一人世帯として登録してください。住民登録したら国保とマイナンバーに申し込んでください。
 - ・ 吉井宏文青少年交換委員長：災害、交通事故、病気、セクハラなど、学生に災難や事件がおきたら、72時間以内に、日本の家族やホストクラブ、カウンセラーに報告して対応する「72時間ルール」。

4) YESS システムによるアップロード書類…ホストクラブ用提出書類一覧（EXCEL）

- ダウンロードして YESS システムにアップします。
 ダウンロード資料は RIJEM の青少年交換の各種資料の長期交換プログラムにあります。
- ・ 櫻井雅寿次年度担当委員長：ホストクラブオリエンテーションだけではなく、ホストファミリーのはオリエンテーションを開催する予定です。

5) 来日する日と空港で出迎えについて…安中 RC の来日出迎え時の写真（参考）

- 短期交換学生は 6月28日 成田着 16:00
 長期交換学生は 8月下旬に来日予定です

【森年度事業】

米山記念奨学指定校選定会議

- 日 時： 2025年6月7日 16:00～16:45
- 場 所： ロイヤルチェスター前橋
- 出席者： 森 末廣ガバナー・竹内正幸米山記念奨学委員会アドバイザー・三好建正ガバナーノミニー・高沢克治米山記念奨学委員長・矢内良春米山記念奨学副委員長・森岡敦史委員・川嶋潤委員・大井田健一委員
- 報告者： 米山記念奨学副委員長 川嶋潤（前橋東 RC）

2026 学年度の米山記念奨学生選考に向けての指定校選定会議が行われました。この指定校に選定された各学校の担当者は 8 月に開催予定の「指定校説明会」にて米山記念奨学事業の概要や応募の流れ、どのような奨学生を推薦するか
の説明を受けます。それに基づき学内選考を行い、通過した学生のみが来年 1 月に開催する「選考会」に臨むこととなります。この日の会議においては県内 8 つの大学が選定され、推薦予定者数 34 名を各大学の留学生数に応じ、推薦者数として決定しました。1 月の選考会では各大学から推薦をされた素晴らしい留学生に出会えることを楽しみに！という
ことで閉会となりました。



【森年度事業】
米山学友会総会

- 日 時： 2025年6月7日 17:00～19:30
- 会 場： ロイヤルチェスター前橋
- 出席者： 森 末廣ガバナー・竹内正幸アドバイザー・田中久夫常務理事・三好建正ガバナーノミニー・唐沢かおり RA 委員長（他委員・RA 8名）・高沢克治委員長・石井嘉一副委員長・矢内良春副委員長・委員 9名・大友一之地区副幹事、木村明宣地区副幹事
- 報告者： 米山記念奨学委員 川嶋 潤（前橋東 RC）

米山学友会総会が開催され、学友会の事業・決算・次年度事業（案）等が承認されました。本会及び懇親会には現役奨学生 27 名、過去最多の学友 21 名が集い情報交換の良い機会となりました。新規奨学生が初めて受け取った名刺を交換している姿は初々しく、まぶしくもありました。今年度で 3 年任期を終了する高沢委員長の周りには常に委員長を囲む輪ができていました。委員長の人気を象徴しているのではなかったでしょうか。米山らしい元気で明るい会となりました。委員長 3 年間大変お疲れさまでした。

次 第	17:00	開 会 挨 拶	司 会 米山学友会 会長 米山記念奨学委員長	郭 妍件 趙 元鼎 高沢 克治
		来賓挨拶	国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 地区米山記念奨学委員会アドバイザー	森 末廣 竹内 正幸
		議 事	第 1 号～第 6 号議案 ロータリーアクトクラブよりご案内	
	17:45	乾 杯 歓 談 締 め	ロータリー米山記念奨学会常務理事 参加学友と奨学生によるスピーチ 米山記念奨学副委員長	田中 久夫 石井 嘉一
	19:30	閉 会		



【森年度事業】

第5回 ガバナー諮問委員会

- 日 時： 2025年6月14日（土） 14：30～15：30
- 会 場： うなぎ たつ吉 2F
- 出席者： 森 末廣ガバナー、曾我隆一パストガバナー、横山公一パストガバナー
 福田一良パストガバナー、安藤震太郎パストガバナー、疋田博之パストガバナー
 本田博己パストガバナー、竹内正幸パストガバナー、森田高史パストガバナー、山田邦子パストガバナー、
 足立 進パストガバナー、保坂充勇パストガバナー
 竹中 隆ガバナーエレクト、三好建正ガバナーノミニー、後藤圭一代表地区幹事、関 真一地区幹事、
 樋口哲雄地区幹事、松島宏明地区会計長、平田 稔地区財務委員
 オブザーバー 櫻井正晴三好年度地区幹事
- 報告者： 代表地区幹事 後藤圭一（桐生RC）

森末廣ガバナー年度の第5回ガバナー諮問委員会が下記次第により、桐生市のうなぎ たつ吉にて開催されました。

【ガバナー挨拶】 ガバナー 森 末廣

【2024-2025年度 報告事項】 ガバナー 森 末廣

1. 2024-2025年度 地区主要行事報告
2. 地区会員数報告（2020年～月別推移）
3. 2024-2025年度 My Rotary 登録率達成報告
4. 2024-2025年度 ロータリー財団寄付実績報告
 - 年次寄付
 - ポリオプラス寄付
5. 2024-2025年度 地区補助金支給・申請実績報告
6. 2024-2025年度 グローバル補助金申請・支給実績報告
7. 2024-2025年度 米山記念奨学会寄付実績報告
8. 2024-2025年度 地区会計収支報告（仮決算・5月末）
9. 2027-2028年度 地区ガバナー候補者推薦について
10. 館林西RCについて
11. ミャンマー大地震災害支援金について

【2025年規定審議会報告】 審議会地区代表議員・PG 本田 博己

【2025-2026年度 報告事項】 ガバナーエレクト 竹中 隆

1. クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーを終えて
2. IMについて
3. RYLA・青少年交換全国大会・日台親善会議に参加して
4. 2025-2026年度 地区事業日程変更について

【その他】



【森年度事業】 インターアクト国際交流事業報告会

- 日 時： 2025年6月15日（日） 14時00分から
- 会 場： 前橋問屋センター会館 2階
- 参加者： ガバナー 森 末廣（桐生RC） ガバナーエレクト 竹中 隆（高崎北RC）
ガバナーノミニー 三好健正（安中RC） 委員長 横尾道世（高崎東RC）
副委員長 関口知義（前橋RC） 委員 田原明美（伊勢崎南RC）
副幹事 河内良範（桐生西RC） 副幹事 青木貴子（桐生RC）
田端 宣章（伊勢崎南RC） 竹中 佳生（渋川みどりRC）
高校生7名（男子1名、女子6名） 保護者および関係者7名
顧問教諭2名
- 報告者： 地区副幹事 河内良範（桐生西RC）

2025年3月27日～30日の訪台および4月18日から21日の台湾生徒受け入れ事業を終えての報告会を開催しました。関口知義副委員の司会進行のもとインターアクト委員長、森末廣ガバナーより挨拶をいただき報告会が始まりました。主な内容として、今回の事業に対する感想や改善点を参加した生徒や保護者の方、さらには学生の受入に協力していただいたロータリアンの方々より貴重な意見をいただきました。

食べ物のアレルギーや動物のアレルギーがある生徒が両国にいたことが共有されていなかったり、訪台時の受入家庭の事情が如実に出てしまったこと、期間が短かったなど参加生徒からは多くの意見が出されました。

受入をしていただいた保護者の方からは一緒にいる時間がもう少し欲しかったや、日帰り入浴施設に行った、さらには日本食（お好み焼きやたこ焼き）を食べたなどの意見が出されました。一番多い意見は移動の際に台湾の学生が乗り物酔いをすることでした。酔い止めの薬を飲ませてよいものかとの意見があった。今後常備薬の中に乗り物酔いの薬を持参させたらどうかと複数名から提案された。また、訪台時のライングループの作成については参加者からは講評であった。これらの意見を参考に、次年度以降に生かしていきたいと考えます。

終わりに5年ぶりの開催にもかかわらず多くの方々の協力のもとこの事業を行うことができましたことに感謝申し上げます。次年度以降も皆様のご理解ご協力をお願いします。



クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー プログラム

開催日：2025年5月18日（日）

全体会場：群馬音楽センター

9:30～10:00	登録・受付		
10:00～10:10	開会挨拶	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー実行委員長	金井 克智
	点鐘	ガバナー	森 末廣
	国歌・ロータリーソング斉唱		
	挨拶	ガバナー	森 末廣
10:10～10:20	来賓・役員紹介／挨拶	ガバナーエレクト	竹中 隆
10:20～10:25	本日の目的について	地区ラーニングファシリテーター	田中 久夫
10:25～10:50	ガバナーエレクト方針発表	ガバナーエレクト	竹中 隆
10:50～11:00	決議 ①地区組織について	代表地区幹事	樋口 哲雄
	②地区予算について	地区会計長	平田 稔
	③2025年決議審議会上程決議案	審議会立法案検討委員会委員長	本田 博己
	採決	ガバナーエレクト	竹中 隆
11:00～11:10	各種表彰	直前ガバナー	保坂 充勇
11:10～11:25	規定審議会報告	審議会立法案検討委員会委員長	本田 博己
11:25～12:25	地区委員会報告	各委員長	
12:25～12:30	ガバナーノミニエ・デジグネート 紹介	ガバナー指名委員会委員長	山田 邦子
	挨拶	ガバナーノミニエ・デジグネート	
	*諸事お知らせ		
12:30～13:20	【休憩・昼食】		
13:20～13:25	講師紹介	地区ラーニングファシリテーター	田中 久夫
13:25～14:25	講演「3-Year Rolling Goalsとクラブサポートミーティングについて」	第二地域ロータリーコーディネーター補佐 ARC	
		第二地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 ARPIC	
		第二地域行動計画推進リーダー APC	
		国際ロータリー第2600地区 パストガバナー	桑澤 一郎 様
14:25～14:30	謝辞	ガバナーエレクト	竹中 隆
	*諸事お知らせ		

分科会

■ 音楽センター会場

14:30～14:50 〈休憩・移動〉

14:50～16:50 分科会・分科会グループ発表

16:50～17:20 〈休憩・移動〉

■ ホテルグランビュウ高崎会場

14:30～15:10 〈休憩・移動〉

15:10～17:10 分科会・分科会グループ発表

17:10～17:20 〈休憩・移動〉

【参照】CLLS 分科会実施要項・CLLS分科会予定表・CLLS各分区参加者名簿

懇親会（会場：ホテルグランビュウ高崎3階 AKAGI）

17:20～17:25	講評	ガバナー	森 末廣
17:25～17:30	閉会挨拶	ホストクラブ会長	神宮 嘉一
	点鐘	ガバナー	森 末廣
17:30～19:00	懇親会		

【クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー】 ガバナーエレクトからのメッセージ

本日は、改めてご参加の皆様に、何をお伝えするべきかを考えました。

皆様にお伝えしたいことは、

1. RI 研修スタイルの変更
2. マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2025-2026 年度会長のメッセージ
3. 国際ロータリー第 2840 地区会員の皆様へのメッセージ
4. クラブリーダーの皆様へのキーワード

です。

最初に、RI 研修スタイルの変更についてです。

ご存じのように、本日の、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーは、地区研修・協議会から名称変更になりました。

去る 4 月 14 日から 17 日にシカゴで開催された 2025 年規定審議会において、地区研修・協議会からクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（CLLS）」、会長エレクト研修セミナー（PETS）から会長エレクト・ラーニングセミナー（PELS）に変更されました。

この変更は、2023 年より実施された RI の研修スタイルの変更、“Training（研修）” から “Learning（学び）” へ基づき修正されたものです。

この変更については、既に役職の呼称の変更など順次行われてまいりましたし、これまでの地区の各種セミナー等でも繰り返し説明がありました。

では、トレーニングとラーニング、その違いとは、何でしょう。

両者は表裏一体の関係にありますが、あらゆる教育プロセスにおいて独自の側面を持っています。

トレーニングとは、受講者を指導するやり方で、音声や文字、その他の実演方法を通じて情報や知識を与えることであります。

ラーニングとは、スキルや能力を高め、様々な状況下でそれを活用するために、その情報を吸収するプロセスのことであります。

国際ロータリー理事会は、規定審議会へのこの議案の上程理由を、

- ・ロータリーは、より良いリーダーを養成し、会員の参加を促すため、研修の文化から参加者中心のラーニングへと移行している。
- ・ロータリーの文言および公式行事の名称を新しくすることは、この移行の一環となる。
- ・参加者中心のラーニングとは、参加者が中心的存在となる力を与えられ、能動的であり、参加する継続的なプロセスを通じて知識や経験を積み重ねながら、自主的に、また互いに学び合う機会をつくるアプローチのことである。

としています。

クラブの運営の在り方は、一つではありません。正解もありません。

それぞれのクラブの生い立ち、会員の個性、地域性など、クラブの数だけあると言ってもよいかもしれません。

クラブリーダーの皆様には、本日のセミナーで皆様のロータリーライフの質を向上させる気付き、キーワードをお持ち帰りいただきたいと考えています。それらを反芻し、ご自身の中で昇華させクラブの運営へと反映していただきたいと思います。

次に、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2025-2026 年度会長のメッセージについてです。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ 2025-2026 年度会長は、2025 年国際協議会でメッセージを発信されました。

「Unite for good」「よいことのために手を取りあおう」

あわせて、「ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をやるのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。」と、定義されました。

それでは、誰と、どの組織と Uniet するのでしょうか？

Goodとは、何なのでしょう？

マリオ会長は、ここでも、私たちに自ら考えることを求めているのではないのでしょうか。

マリオ会長は、会員増強に最大の重点を置くことを表明しました。

そして、会員増強と活性化に向けた「不可欠な3つの柱」、「革新」・「継続性」・「パートナーシップ」を示し、これらは principles（行動の基本となるもの）であり、単なる戦略ではなく、ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するためへの「行動の呼びかけ」とであると強調しました。

この中で、「継続性」について、少し考えてみました。継続、連続、持続。

これ他の違いを明確にしたいと思い調べたところ、ネットで次のような回答を見つけました。

何かの「努力=effort」により、何かの「結果=consequence」を起きさせるとした場合：

- ・ 継続は、(様々な)「努力」をその都度行うことで一つの「結果」を起きさせ続ける(維持する)こと (複数の「努力」による、単数の「結果」) = continued, continuation
- ・ 連続は、「努力」を何度も繰り返し行うことで「結果」も何度も繰り返し起きさせること(複数の「努力」による、複数の「結果」) = repeated, repetition
- ・ 持続は、一つの「努力」を続けることで一つの「結果」を起きさせ続ける(維持する)こと(単数の「努力」による、単数の「結果」) = sustained, sustainment

正解かは分かりませんが、この「努力」と「結果」または「成果」が肝だと思えます。

会員増強

また、マリオ会長が最大の重点を置くとおっしゃった会員増強についてです。

会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに renewing(高め)、ロータリーの使命を継承していくことだとし、そのために

- ・ クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れること
- ・ 後継者育成計画が重要

であり、会員数が増えれば奉仕の capacity(力)が広がるとの好循環を期待されました。そして、会員の勧誘と維持は、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観でなければならず、それにより、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できると結論付けました。

退会防止

別の機会のお話ですが、マリオ会長は退会防止にも触れられています。

ここでもキーワードがあります。

- ・ Good Continuous Leadership:
上手くいっているクラブは継続的に良いリーダーがいる。クラブの文化を RI 会長が変えることはできない。唯一言えることは「新クラブをつくるべきだ。」
- ・ Purpose(目的):
クラブ会員全員が同じ目的・目標に向かっていくことが大切である。
- ・ 年齢層:
良いクラブはあらゆる世代の会員がいる。そして、その会員が一つとしてまとまることが大切である。
- ・ 良いクラブであるためには、クラブが存在するコミュニティの変化に応じなければ存続しない。その変化を拒否すると、最終的には会員が減少してしまう。要は、継続と変化のバランスが重要である。
- ・ 一人のオーナーがクラブを牛耳っている場合、そのクラブはすぐに終末を迎えることになる。

次は、私からの国際ロータリー第 2840 地区会員の皆様へのメッセージです。

組織において、その活動の目的を明確にし、構成するメンバーで共有することが重要です。

ロータリーが求め続けてきた普遍的な価値とは、何でしょうか。

ロータリーでは、日常目にするのはあまりありませんが、明示されています。

- ・ロータリーの目的
例会で歌われている
- ・四つのテスト
- ・ロータリーの中核的価値観
- ・ロータリーのビジョン声明
- ・ロータリー行動計画

RI 会長がどんなメッセージを発しても、これらは最上位に位置付けられます。

このロータリアンが目指す目的、共有すべき価値観を忘れず、時代、環境に応じた変化が必要です。

変化することで、必要とされる組織であり続けることを目指しましょう。

変化に対しては、何をどのように、何を目標に、変えていくかの視点が必要です。必要と思われる変化を見出し、それに向けて計画的に推進するための行動計画に基づいた戦略、指標作りが重要だと考えます。

2025-2026 年度、地区内会員の皆様には、語る、語り合うことを意識してロータリー活動をしていただきたいと考え、地区スローガンを「ロータリーを語ろう」とさせていただきます。

会員の皆様に、誰と、何を語っていただきたいかは、

- ・ロータリアン同士では、ロータリーの守ってきたものとは？どう変わっていくのか？
- ・クラブでは、何を大切にするのか？これからクラブをどうしていくのか？
- ・外に向かっては、ロータリーの理念、奉仕活動

です。

その目的は

- ・ロータリアン同士、クラブでは、共通の価値観の醸成、将来に向けた方針の共有、確認
- ・外に向かっては、公共イメージの向上、地域における良い評判の形成

でしょうか。

ガバナーの役割と何でしょう。

私は「地区内のクラブ、会員を“鼓舞する”」ことにあると考えます。

ロータリーの価値の向上、会員のクラブ、ロータリーへの帰属意識の強化、会員自身の中でのロータリーの優先順位、プライオリティの向上のために、RI の方針を、分かりやすく、丁寧に説き続けます。

ロータリーを取り巻く様々な変化を受け入れ、革新し、皆で手を取り合って、活動を通じ地域にインパクト（ロータリーの活動によってもたらされる長期的で好ましい変化）を与えようではありませんか。

インパクトの「積み木」というもので、ロータリーインパクトハンドブックというののっていますが、……

地区運営方針の基本を、……

ガバナー、地区としては、

クラブや会員にとって、価値ある存在となる

クラブに対しては、

継続／発展／検証／目標設定／良い評判形成／ブラッシュアップ、更新／共有

パートナーシップの構築／蓄積／参加促進

加えて、それぞれの決定、実行には、クラブ全会員が認める手続きを経ることが重要です。

数値目標においては、改めてお示しは致しません。クラブが決定し、3-Year Rolling Goals、クラブセントラルに掲げた数値目標を確実に達成することをお願いします。

会員には、

ロータリー知識、情報の取得／帰属意識の再確認、強化

●クラブリーダーの皆様へのキーワード

マリオ会長は、2月の国際協議会に先立ち、1月に訪日され、ガバナーエレクトを招集されました。桑澤様、2840 地区からは、田中バスターガバナー、中野バスターガバナーが参加されました。

目的がよく分からなかったのですが、その時の内容を改めて確認すると、ガバナーエレクトヘリーダー像を示されたのだと思います。

そこで、クラブリーダーの皆様へも、お伝えさせていただきます。

マリオ会長は、8つのキーワードを示されました。

DREAM (夢) CONNECT (つながり) PLAN (計画) ACT (行動) FAIL (失敗)

RECOGNIZE & APOLOGIZE (認識と謝罪) TAKE RESPONSIBILITY (責任を持つ)

HAVE FUN (楽しむ)

DREAM (夢)

「夢を持つことが成功の第一歩であり、夢がなければ現状に甘んじてしまう」とマリオ氏は強調しました。

ロータリーのリーダーたちには、自分が任期を終えたとき、どのような成果を残していきたいかを明確にイメージすることが求められました。

CONNECT (つながり)

「チームワークは成功の秘訣です」「誰も一人では生きられない」。

リーダーとして、適材適所の人材配置を行う重要性が強調され、友情や個人的な関係ではなく、能力を基準にメンバーを選ぶべきだとしました。

162 人の委員を選任する中で、マリオ氏は「友情だけでなく、仕事に最適な人材を選ぶことが成功への鍵である」と説明しました。この点で、適切な役割分担と協力体制の構築がロータリークラブの発展を支えると述べました。

PLAN (計画)

「計画を文書化することが、目標達成への第一歩です」と述べ、計画には以下の要素が必要であると指摘しました：

- ・目標の明確化
- ・目標達成の責任者の特定
- ・実行期限の設定

さらに、計画を文書にすることで自分へのコミットメントが強まり、実行力が高まると説明しました。「ハーバード・フーバーの言葉にあるように、行動を伴わない言葉は理想を殺す」と警鐘を鳴らし、具体的な行動が結果を生むことを力説しました。

ACT (行動)

「私たちは言葉だけでなく、行動で語るべきです」というメッセージが繰り返されました。

また、別の格言「あなたの行動は非常に大きな声で語るため、あなたの言葉が聞こえない」も引用され、リーダーは自らが模範となる行動を示すべきだと述べました。

FAIL (失敗)

「失敗は避けられませんが、それは致命的ではありません」と語り、ウィンストン・チャーチルの言葉を引用しました。

- ・成功は最終的なものではない
- ・失敗は致命的ではない
- ・重要なのは、続ける勇気だ

失敗は成長のプロセスの一部であり、それを認識して備えることが大切です。失敗から学び、それを次の成功に活かす姿勢が求められました。

RECOGNIZE & APOLOGIZE (認識と謝罪)

ロータリーにおいて、メンバーへの最大の報酬は「認識と感謝」です。特に、メンバーを公の場で批判することは避けるべきだと述べました。「建設的なフィードバックは、必ず尊敬の念を持って行われるべきです」と強調しました。

TAKE RESPONSIBILITY (責任を持つ)

ボランティアだからといって責任感が軽くなるわけではなく、役割を果たす責任を自覚する必要があります。「自分の役割を果たせないなら、そのポジションを他の人に譲るべきだ」と語り、結果を出すことが求められました。

HAVE FUN (楽しむ)

真剣な活動の中にも「楽しむこと」が重要であると語りました。メンバー間の友情を深める活動は、クラブの活性化に繋がると述べ、楽しむことと真剣に取り組むことは矛盾しないと説明しました。

まとめとして、会員増強や、奉仕プロジェクトの実施は、最終目的ではありません。

私たちの目的は、会員一人一人が、ロータリーの中核的価値観に基づき、四つのテストを実践し、ロータリーのビジョン声明に掲げる世界を創ることです。

クラブの会長、リーダーはクラブの将来、地域内のこれからの会員に責任があり、その責任を果たさなくてはなりません。

そして、クラブの将来を描けない、地域で必要とされないクラブは無くなってしまいかもかもしれません。

そうならないためには、クラブリーダーだけでなく、会員全てがクラブの将来を考え、目先・小手先でない将来に向けた変化のトレンドを、クラブ内に創り上げなくてはならないのではないのでしょうか。

クラブ会長、クラブリーダーは、ロータリーを会員のライフスタイルの中にしっかり根付かせ、参加への意欲を高めなくてはなりません。

そのためには、リーダーの熱量、会員を鼓舞する、鼓舞し続ける熱量が不可欠です。

ロータリーとは、何なのか？

ロータリアンにとって、ロータリーは本当に価値あるものなのか？

私たちロータリアンは、クラブは、ロータリーは、どこへ向かうのか？

地区内クラブの活動の充実、地区内会員のクラブライフ、ロータリーライフの充実のために、クラブ奉仕があるように、ロータリアンへの奉仕を献身的に行います。

私の会社、竹中組のモットーは「人と共に歩み 街と共に生きる」です。

かっこつけすぎ、気負い過ぎかもしませんが、ガバナーとしての私のモットーを「クラブと共に歩み 会員と共に生きる」と掲げたいと思います。



【クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー】
講演要旨

「3-Year Rolling Goals」と「クラブサポートミーティング」の重要性と具体的な実施方法についての講演。

〔テーマ〕

**3-Year Rolling Goalsと
クラブサポートミーティングについて**

桑澤 一郎 (茅野ロータリークラブ)



略歴

生年月日	1957年8月生まれ 67歳
勤務先	株式会社茅野自動車学校 代表取締役 株式会社諏訪中央自動車学校 代表取締役
職業分類	自動車教習所
所属クラブ	第2600地区茅野ロータリークラブ
職務関連経歴	1981年 YOUNG & RUBICAM Inc. (Japan Branch) 入社 1982年 電通ヤングアンドルピカム株式会社 入社 1990年 株式会社茅野自動車学校 入社 2001年 同社 代表取締役 (現職) 2017年 (一社) 長野県指定自動車教習所協会 会長 (現職) 2019年 全国指定自動車学校経営協議会 会長 (現職) 2021年 (一社) 全日本指定自動車教習所協会連合会副会長 2022年 株式会社諏訪中央自動車学校 代表取締役 (現職) 2024年 諏訪優良法人会 会長 (現職)

ロータリー歴

2005年	茅野ロータリークラブ入会
2014年-2017年	2600地区インターアクト委員長
2017年-2020年	2600地区青少年奉仕委員長
2019年-2020年	茅野ロータリークラブ会長
2021年-2022年	2600地区ガバナー
2022年-2023年	第2地域ロータリーコーディネーター補佐
2022年-2025年	第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐
2024年-	第2地域行動計画推進リーダー

ロータリー財団

メジャードナー
マルチプルポールハリスフェロー
エンドポリオソサエティ

トピック

6. 長野県と群馬県の地区比較

長野県 2600 地区と群馬県 2840 地区の会員数、クラブ数、人口、経済規模の比較を通じて、地区ごとの特徴を分析した。長野県はクラブ規模が小さく、会員数が減少傾向にある一方で、群馬県は会員比率が高いことが指摘された。経済規模や地理的条件が会員数やクラブ運営に与える影響について議論が行われた。

3. ポータルサイトの活用

桑澤氏は、ジャパンポータルサイトの利用方法を詳細に説明し、クラブ運営に必要な情報が整理されていることを強調した。

NFC カードや QR コードを活用して、ポータルサイトへのアクセスを簡易化する方法を紹介した。

ポータルサイトには、3 年間の目標フォーマット、クラブセントラルへのリンク、会員増強の資料などが含まれており、クラブ運営に役立つ情報が集約されている。

ポータルサイトのアクセス状況をリアルタイムで確認できる機能があり、全国的な利用状況を把握することが可能であると述べた。

1. 3 年間の目標 (3-Year Rolling Goals)

桑澤一郎氏は、RI が提唱する 3 年間の目標について説明し、これはクラブの戦略計画を補完する試験的なプログラムであると述べた。

長野県 2600 地区と群馬県 2840 地区の会員数やクラブ数の比較を通じて、クラブ規模や経済規模が会員数に与える影響を分析した。

3 年間の目標フォーマットを活用し、クラブセントラルに目標値を転記する重要性を強調した。

2027 年度までにこのプログラムが終了し、その後検証が行われる予定であることを説明した。

戦略計画が単なるビジョンに留まらず、具体的な目標値を設定し、毎年見直しを行う「ローリングターゲット」の重要性を述べた。

2. クラブサポートミーティング

クラブサポートミーティングは、クラブの目標達成を支援するために地区が主催する定期的なオンラインミーティングであると説明された。

ガバナーがクラブをサポートする役割を果たし、クラブの状況把握や課題の共有を行う場として機能する。

会長が年度中にクラブの目標進捗を管理し、月々の実績値を入力する必要性を強調した。

地区ミーティングと地域ミーティングを通じて、クラブ間の情報共有や課題解決を促進する仕組みが提案された。

サポートミーティングを通じて、会長が目標達成の喜びや達成感を共有し、充実した年度を過ごすことができると述べた。

6. 長野県と群馬県の地区比較

長野県 2600 地区と群馬県 2840 地区の会員数、クラブ数、人口、経済規模の比較を通じて、地区ごとの特徴を分析した。長野県はクラブ規模が小さく、会員数が減少傾向にある一方で、群馬県は会員比率が高いことが指摘された。経済規模や地理的条件が会員数やクラブ運営に与える影響について議論が行われた。

3. ポータルサイトの活用

桑澤氏は、ジャパンポータルサイトの利用方法を詳細に説明し、クラブ運営に必要な情報が整理されていることを強調した。

NFC カードや QR コードを活用して、ポータルサイトへのアクセスを簡易化する方法を紹介した。

ポータルサイトには、3 年間の目標フォーマット、クラブセントラルへのリンク、会員増強の資料などが含まれており、クラブ運営に役立つ情報が集約されている。

ポータルサイトのアクセス状況をリアルタイムで確認できる機能があり、全国的な利用状況を把握することが可能であると述べた。

1. 3 年間の目標 (3-Year Rolling Goals)

桑澤一郎氏は、RI が提唱する 3 年間の目標について説明し、これはクラブの戦略計画を補完する試験的なプログラムであると述べた。

長野県 2600 地区と群馬県 2840 地区の会員数やクラブ数の比較を通じて、クラブ規模や経済規模が会員数に与える影響を分析した。

3 年間の目標フォーマットを活用し、クラブセントラルに目標値を転記する重要性を強調した。

2027 年度までにこのプログラムが終了し、その後検証が行われる予定であることを説明した。

戦略計画が単なるビジョンに留まらず、具体的な目標値を設定し、毎年見直しを行う「ローリングターゲット」の重要性を述べた。

2. クラブサポートミーティング

クラブサポートミーティングは、クラブの目標達成を支援するために地区が主催する定期的なオンラインミーティングであると説明された。

ガバナーがクラブをサポートする役割を果たし、クラブの状況把握や課題の共有を行う場として機能する。

会長が年度中にクラブの目標進捗を管理し、月々の実績値を入力する必要性を強調した。

地区ミーティングと地域ミーティングを通じて、クラブ間の情報共有や課題解決を促進する仕組みが提案された。

サポートミーティングを通じて、会長が目標達成の喜びや達成感を共有し、充実した年度を過ごすことができると述べた。

4. 会員増強と会員種別の多様化

会員増強の重要性を強調し、特に年度末の退会者を減らすための戦略として会員種別の多様化を提案した。

シニア会員、家族会員、Web 会員などの新しい会員種別を導入することで、退会を防ぎ、クラブの規模を維持する方法を説明した。

会費の柔軟な設定や例会参加頻度の調整を通じて、会員のニーズに応える仕組みを提案した。

会員増強の成功事例として、2580 地区の若林氏の講演を紹介し、データや資料をクラブで共有することを推奨した。

5. ラーニングセンターの活用

マイロータリーのラーニングセンターを活用し、クラブ会長やガバナーがリーダーシップやファシリテーションのスキルを学ぶ重要性を述べた。

ラーニングセンターには、クラブ運営に必要なコースが多数用意されており、会長が責務を理解し、効果的に役割を果たすための学習が可能である。

一部の地区では、ラーニングセンターの修了証を提出することが求められる場合があるが、桑澤氏はこれを楽しみながら学ぶ機会として捉えるべきだと述べた。

7. 戦略計画委員会の役割

戦略計画委員会を設置し、クラブの中長期計画を策定する重要性を強調した。

戦略計画委員会が具体的な目標値を設定し、クラブの方向性を決定するべきであると述べた。

戦略計画委員会には、パスト会長や次年度の会長候補が参加し、クラブのビジョンを共有することが推奨された。単年度運営の限界を指摘し、クラブの持続可能な成長を目指すための長期的な視点を持つ必要性を述べた。

次の手順

三年間の目標フォーマットをダウンロードし、クラブセントラルに転記入力する：クラブ会長

2025 年度 7 月 1 日時点の会員数をフォームに従って入力する：クラブ会長

毎月の会員増減数を翌月 3 日までに入力する：クラブ会長

クラブ戦略計画委員会を設置し、中長期計画を策定する：クラブ理事会

クラブサポートミーティングのスケジュールを決定し、会長に案内する：ガバナーエレクト

クラブサポートミーティングでの情報共有と課題検討を実施する：ガバナー

ポータルサイトの内容を確認し、クラブ運営に活用する：クラブ会長

ラーニングセンターのコースを受講し、クラブ会長としての責務を学ぶ：クラブ会長

地区ミーティングの開催準備を行い、クラブ会長に参加を促す：ガバナーエレクト

地域ミーティングを定期的に行い、ガバナーをサポートする：地域リーダー

[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

分科会 実施要項

1. 分科会テーマ **クラブの革新と継続**
2. 目 的 2025-2026年度RI会長メッセージに中で示された、会員増強と活性化に向けた「不可欠な3つの柱」である“革新”“継続性”“パートナーシップ”を意識し、
 - ・クラブ会長がクラブ運営と組織・事業立案に反映できるヒントを得る
 - ・クラブ委員長がクラブの委員会事業を検証し、クラブ会員にとってより価値ある活動となるようなヒントを得る
3. 分科会数 7分科会 クラブリーダー・ラーニング・セミナー分科会(CLLS) 予定表参照
4. 開催形式・進行 ①音楽センターとホテルグランビュー高崎の2か所に分かれて開催
 ②分科会進行・グループディスカッション進行・時間配分
 - ・分科会リーダーによる全体趣旨説明(10分)
 - ・各分科会を4～9グループにわけグループディスカッション
 グループ分け/地区役員役割:各分区参加者名簿、CLLS分科会予定表参照
 - ・ファシリテーターによるグループディスカッション(70～80分)
 3～4つの討議テーマを示し、RLI方式によるディスカッション
 - ・ディスカッショングループの代表による発表(各グループ3～5分、20～30分)
5. 分科会グループディスカッション討議テーマ
 - 1～3 会員増強/
 戦略計画・研修計画/
 DEI推進
 - ・退会予備群の把握と対処について
 - ・クラブセントラル、3Year Rolling Goals の活用について
 - ・クラブ年度目標サポートミーティングについて
 - ・クラブ戦略計画の更新とロータリーの行動計画との整合性について
 - ・クラブ内でのクラブ戦略計画の共有とクラブの中期的ビジョンについて
 - ・インクルーシブなクラブ風土の醸成について
 - 4 公共イメージ・ICT推進
 - ・クラブの事業が地域にどう貢献していると思うか
 - ・クラブの事業をどう広報しているか
 - ・HP、Facebook、インスタグラム等の更新頻度と責任者について
 - ・クラブに CIO (クラブ情報管理者) がいるか
 - ・地域ではロータリーをどう認識されていると思うか
 - 5 青少年奉仕
 - ・ホストクラブ、提唱クラブ以外のクラブの認識
 - ・ホストクラブになる可能性
 - ・インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ新設の可能性
 - ・RYLA への参加者拡大へのヒント
 - ・既存のプログラム以外の青少年奉仕の可能性
 - 6 ロータリー財団/
 職業・国際・地域社会奉仕/
 国際大会
 - ・財団への寄付依頼の効果的な方法について
 - ・財団補助金を使ったクラブの事業が地域にどう貢献していると思うか
 - ・国内外の友好クラブと共同プロジェクトを実施する可能性について
 - ・国際大会の参加ロータリアンが得るものをいかに会員に伝えられるか
 - ・ポリオ根絶プログラムと国際奉仕について
 - 7 米山記念奨学
 - ・米山記念奨学金制度への理解度について
 - ・他地区共同プログラムである米山を自クラブの活性化のためにどう活用できるか
 - ・これからの米山はどうあるべきか
 - ・クラブ単独、分区単位の学生サポートの必要性和可能性
 - ・上記に対する課題と解決策

[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

第1分科会 会員増強／戦略計画・研修計画／DEI推進

■ 場所：群馬音楽センター 第一楽屋

■ 参加者：第1分科会（44名）

- ・リーダー：中野正美 PG サブリーダー：三好建正 GN
- ・ファシリテーター：第1G 中野正美 PG（太田）、第2G 三好建正 GN（安中）
第3G 原精一 AG（館林ミレニアム）、第4G 松島宏明（桐生）
- ・出席者：クラブ会長、会員増強委員会、クラブラーニングファシリテーター、戦略計画委員会、
クラブ行動計画推進者、ラーニング委員会
- ・報告者：地区副幹事 須永正儀（高崎北RC）

冒頭、分科会リーダーの中野正美 PG のあいさつをいただき、松島宏明ファシリテーターが趣旨説明を行い、グループディスカッションに入りました。所要時間は約70分。途中10分間の休憩の後、グループで出た意見と取り纏めた後、各グループの代表者が発表しました。各グループとも、会員増強、退会防止が喫緊の課題として多くの意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。発表内容をまとめたものが以下の通りとなります。

● 退会予備軍の把握と対処について

- ・ 例会への出席率の低下は、退会の兆しであると考えられる。
⇒対策として、夜間例会などを開催し、食い止める努力をする。
積極的に声かけを行い、場合によっては送迎などのサポートも検討する。
- ・ 新入会員、若手会員などロータリー活動に不慣れな会員が例会で孤立しないよう、フォローを強化し、クラブの雰囲気や人となりを知ってもらうことが重要。
- ・ 年会費の引き下げを検討する。
- ・ 体調不良者への配慮…無理に参加を促すのではなく、家族や知人を紹介してもらうよう声をかける。

● クラブセントラル、3 Year Rolling Goals の活用について

- ・ 計画の重要性
⇒しっかりと取り組む必要がある。
- ・ 活用のメリット
⇒ローリングプランの更新作業は手間がかかるが、現状のクラブを把握し、クラブの考え方を全員に共有できる可能性があるため、活用を検討するべき。
- ・ 継続的な計画
⇒単年度制ではなく、今期・次期・次次期といった形で3年連続で話し合い、関連性を蓄積していくべき。

● **クラブ戦略計画の更新とロータリーの行動計画との整合性について**

- ・ 計画策定のプロセス
戦略計画を立てる際には、現況報告を元に、計画作成者の話を聞くことが重要である。
- ・ 会員増強の必要性
新しい会員候補には毎回声をかける。
関連会合等で様々な人を招待した際に声をかけることも有効な手段である・

● **インクルーシブなクラブ風土の醸成について**

- ・ 様々な意見や活動を取り入れていくことが重要である。

● **その他 会員増強の手立てとして**

- ・ ロータリーの活動内容や組織文化への理解を深めるためのサポートを強化し、会員同士の人となりを知る機会を提供することで、「面白い」「この会なら参加したい」と思ってもらえるような環境づくりを目指すべきである。
- ・ 家族も参加できる例会の開催を検討する。
- ・ 会員が持つ潜在的な候補者をリスト化し、会議等で共有・検討することで思いがけない人材発掘の可能性を高めるべき。
- ・ 女性会員の勧誘は、複数名を同時に勧誘し入会してもらう方が定着しやすい。

★分科会全般、補足等 リーダー；中野 PG

- ・ マイロータリーへの登録の推進（目標登録率80%以上）
- ・ 各会員が情報源（例として、マイロータリー内のジャパンポータル）にアクセスし、ロータリーに関する知識を深め、外部からの『ロータリーとは何か』という質問に対して、端的または具体的に説明できる状態を目指すことが重要であるとお話されました。



[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

第2分科会 会員増強／戦略計画・研修計画／DEI推進

■ 場所：グランビュー 2 階 MIYOGI

■ 参加者：第2分科会（44名）

- ・リーダー：田中久夫 PG
- ・アドバイザー：安藤震太郎 PG
- ・ファシリテーター：田中久夫 PG（高崎）、青山豊 AG（桐生南）、鷹巣修 AG（伊勢崎南）、赤井幸夫 AG（沼田中央）、君島准逸地区ラーニング・管理運営委員会委員（高崎シンフォニー）
- ・出席者：クラブ会長、会員増強委員会、クラブラーニングファシリテーター、戦略計画委員会、クラブ行動計画推進者、ラーニング委員会

●分科会リーダー（田中久夫 PG）による趣旨説明

第1分科会は小クラブ、第2分科会は中堅クラブ、第3分科会は大きいクラブで構成されている。各クラブの規模や歴史、人数に応じてグループ分けされており、同じテーマでもクラブの特性に合わせて議論ができるよう配慮されている。その中でも第2分科会は2840地区内で中堅的な人数を持っているクラブなので、クラブの発展が特に重視されているので、この一年、特に頑張ってもらいたい。

★退会予備群の把握と対処について

- ・既存会員が新入会員に声をかけることで「歓迎されている」「大切にされている」と感じてもらうことが重要。
- ・紹介者がLINEなどで積極的に声掛けをする。
- ・会費の柔軟な設定、シニア会員や名誉会員など肩書きを設けて会費を調整する。
- ・全員が何らかのクラブ活動に所属することで辞めにくい環境を作ることが大事。
- ・例会ごとに意義を持たせることや、出席しやすい環境（時間・場所の調整）、欠席者情報の共有、早期対応が大事。

★クラブ年度目標サポートミーティングについて

- ・第1グループの現状会員数は高崎クラブを含めて480人、来年度末には530人を目指す目標が設定された。

★クラブ戦略計画の更新とロータリーの行動計画との整合性について

- ・戦略計画がグループ内で十分に共有されていない現状があり、誰かが作成し、全員で共有・実行することで3年後のクラブ活性化を目指す必要性を持つこと。

★クラブ内でのクラブ戦略計画の共有とクラブの中期的ビジョンについて

- ・クラブの目的や方向性を共有し、同じベクトルで活動することが会員拡大やクラブ活性化につながる。
- ・戦略計画は継続的に実施し、単年で終わらせず長期的な視点で取り組む必要。

★インクルーシブなクラブ風土の醸成について

- ・ 昼間参加できない会員やゴルフのみ参加の会員も温かく迎える方針が共有された。
- ・ 呼称の工夫が会員間の距離を縮める効果があることが確認された。

●分科会全般

1. 戦略計画の共有と実行が各クラブで不十分であり、全会員に戦略計画を周知し、実際の活動に落とし込むための具体的な方法や浸透策が未策定のままとなっている。今後、戦略計画の作成・共有・実行プロセスの明確化と、日常活動への反映方法を早急に検討する必要がある。
2. 若手会員の出席率向上に向けた具体的な施策が不明確であり、仕事と例会の両立を支援する柔軟な例会運営方法やサポート体制の検討が進んでいない。若手会員のニーズ把握と実効性のある出席率向上策の策定が急務である。
3. 各クラブでの退会防止策（特別会員制度や会費の柔軟化など）の効果的な横展開や情報共有が不足しており、成功事例の集約と共有体制の構築が進んでいない。全体でのノウハウ共有と実践促進の仕組み作りが必要である。
4. 女性会員増加や趣味を活かした入会促進策について、効果測定や継続的な改善策が不明確であり、具体的な実施方法や責任者、進捗管理方法の設定が求められている。
5. 退会理由のヒアリングや会員の多様な受け入れに関して、具体的な運用ルールや担当者の設定、効果測定の方法など詳細な実施計画が未策定であり、今後の運営体制の明確化が必要である。



[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

第3分科会 会員増強／戦略計画・研修計画／DEI推進

■ 場所：音楽センター第二会議室

■ 参加者：第3分科会（51名）

- ・リーダー：本田博己 PG
- ・アドバイザー：横山公一 PG
- ・ファシリテーター：本田博己 PG（前橋）、小磯正康 AG（前橋中央）、関口朋克 AG（高崎セントラル）、大谷恒雄 AG（太田南）、新井良和地区ラーニング・管理運営委員会委員（伊勢崎）
- ・出席者：クラブ会長、会員増強委員会、クラブラーニングファシリテーター、戦略計画委員会
クラブ行動計画推進者、ラーニング委員会

●分科会リーダーによる全体趣旨説明

本会議では「戦略計画」「会員維持・増強」「多様性推進（Diversity, Equity & Inclusion: DEI）」の3本柱を軸に、各クラブの実情や課題を共有し、改善に向けた具体策を検討することが目的とされた。

●ディスカッショングループの代表による発表（会員増強／戦略計画・研修計画／DEI推進）

- ・退会予備群の把握と対処について
三年以内の退会傾向者や高齢会員への対策が共有された。メンター制度、女性部会の設置、推薦者によるフォロー、楽しさの共有（親睦活動や趣味の会など）が有効とされた。
女性会員・若手会員の定着・活躍促進
女性部会の事例や女性リーダーの登用、新入会員の居場所づくりと親睦活動の重要性が示された。
- ・クラブセントラル、3Year Rolling Goals の活用について
スリーディアローリーゴールズ（3年間の活動計画）の入力と運用が戦略的クラブ運営に有効であると共有されたが、未活用のクラブも多く、全体的な導入推進が求められる。
- ・クラブ年度目標サポートミーティングについて
各クラブが年度初めに目標を明確化し、達成度をモニタリングできるよう、定期的なサポートミーティングの実施が検討された。
- ・クラブ戦略計画の更新とロータリーの行動計画との整合性について
戦略計画が形骸化しているクラブもあり、行動計画との整合性を取りながら見直す必要性が共有された。中期ビジョンや数値目標の明記が今後の課題。
- ・クラブ内でのクラブ戦略計画の共有とクラブの中期的ビジョンについて
会員全体への計画の浸透不足が課題であり、定例会や家庭集会などで継続的に共有することが提案された。

・インクルーシブなクラブ風土の醸成について

多様な価値観や背景を持つ会員を受け入れる文化を育てる必要があるとされたが、多くのクラブでは既に良好な雰囲気があるとの報告もあり、課題があれば共有するよう促された。

●分科会全般

各クラブで戦略計画・行動計画の具体化と浸透が依然として課題。クラブセントラルの活用、行動計画の明記が重要。会員増強・維持にはメンター制度や楽しさの共有、横のつながり強化が効果的。新入・若手・女性会員へのサポート体制が求められる。

IT活用（LINE 動画・Zoom など）で参加率向上や情報共有の効率化が進む一方、全体での活用レベル向上には更なる取り組みが必要。

高齢化対応として特別会員制度の活用は有効だが、メンタル面や制度運用の明確化が必要。

「知識を行動に移す」「四つのテストを実践する」など、ロータリーの価値観を体現する姿勢が重視されている。



【クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー】

第4分科会 公共イメージ・ICT 推進

■ 場所：グランビュー2階 HARUNA

■ 参加者：第4分科会（78名）

- ・リーダー：足立進 PG
- ・サブリーダー：森末廣 G
- ・ファシリテーター：足立進 PG（前橋東）、森末廣 G（桐生）、櫻井正晴地区幹事（安中）、平田稔地区会計長（高崎北） 関口俊介 RLI 推進委員会委員長（高崎）、飯田知義区ラーニング・管理運営委員会委員（大泉） 津久井功区ラーニング・管理運営委員会委員（沼田） 前田修公共イメージ・ICT 推進委員会委員長（前橋）
- ・出席者：クラブ幹事、公共イメージ委員会

■ 渡良瀬鉄道、水沼駅の装飾

ラグビー大会を毎年主催

- ・高校への植樹。交通安全の垂れ幕設置
- ・就学金の支援。沼田社会福祉協議会へタオルの寄贈
- ・沼田市無形民俗文化財の沼須人形芝居に寄付
- ・沼田市の中学生を対象に野球大会を主催開催。
- ・お祭り出店売上金100%ポリオ撲滅活動に活用。
- ・小学生のバレーボール大会開催 20年以上継続
- ・駅前に気温計の設置、周辺の清掃活動
- ・幼稚園の生徒と大根収穫祭
- ・こども食堂
- ・女子刑務所へのクリスマスケーキのプレゼント
- ・少年野球大会の開催
- ・マーチングフェスティバルへの助成金

- ・少年サッカー大会開催
- ・水沼駅イルミネーション設置
- ・高崎駅周辺パトロール
- ・児童養護施設の卒業生への奨学金授与
- ・図書館へ本の寄贈
- ・サッカー大会、青少年中学生意見交換会
- ・青少年野球大会、サッカー大会、テニス大会、劇団、
- ・児童旅行、富岡製糸場の清掃
- ・児童支援、女性ネットワークの活用
- ・障害支援、スカラシップ

■ クラブの事業をどう広報しているか

- ・HPにアップ（会員限定）野球活動をユーチューブにアップ
- ・面白そうな例会をアップ/月に一度更新
- ・群馬テレビ
- ・上毛新聞
- ・地元新聞
- ・広報しない
- ・支援事業を活用して行う、
- ・メディアの活用（記者クラブを利用）、HPの更新
- ・スポーツイベントの開会式などでアピール
- ・SNSとの活用も少ない。あまりおかげさに広報は必要ないのでは。



■HP、Facebook、インスタグラム等のSNSの更新、責任者について

- ・おおまかに分けるとHPを更新している
- ・Facebookは年数回、SNSはしていない。
- ・できない(しない)理由:責任者が不明確、個人情報の取り扱いが難しいなど。
- ・他意見として、ロータリーの友を病院や銀行の待合せ室に置くなどをやっても良い。
- ・若い人が更新されていないHPを見て入会しようとは思わないのでは。
- ・更新頻度は月に1回前後、奉仕活動を最大限PRしている。
- ・責任者については現在事務局がおこなっているが将来的にはICT推進委員会、委員長を作って確立する必要がある。
- ・SNSの予算を明確にすべき
- ・HPの更新、インスタグラム→マニュアル化(ルール化) = 継続
- ・アカウントクラブ→クラブ専用のスマホで立ち上げ(Wi-Fiのみ)
- ・FB、インスタの連動、QRコードの活用
- ・HP・SNS自体更新していない(何も活用していない)
- ・担当者を明確に
- ・無理やり作るHPの必要性、見てもらえるのか
- ・HP更新も簡単になってきている
- ・ロータリーでどんな活動をしているのか外部の人に興味を持ってもらえる
- ・各クラブ員の会社HPにロータリーのリンクを貼っては
- ・会社の名刺にロータリーを記載する

■クラブにCIO(クラブ情報管理者)がいるか

- ・特段存在しないが今後居た方がよい。
- ・危機管理の意味で会として共有してコンセンサスを撮る管理が今後必要である。
- ・マイロータリーの登録を上げる担当者あり
- ・公共イメージ委員会のやるべきことがわからない、CIOの区別がない
- ・手探りで活動中・明確化が必要
- ・個人情報の管理

■地域ではロータリーをどう認識されていると思うか

- ・存在はある程度認識されているがボランティア活動面は認識が薄い。
- ・外国では好認識である。
- ・金持ちの集まり 格式が高い
- ・社会奉仕をしている団体
- ・地域に根差した活動をしていくことが継続的に必要である。
- ・クラブ事業に関わっている人は認識はあるかも。奉仕の認識があるか疑問
- ・地域からの認識は薄い、社会クラブではないか
- ・認識は偏っている、ロータリーとライオンズは異なるか。差別化が必要
- ・ロータリーは昼食を食べるものの認識あり
- ・ロータリーは地域に根付くものであり、ロータリアンを増やすと組織率をあげる。
- ・今回のものを各クラブへ持って帰りブラッシュアップして望しい。

[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

第5分科会 青少年奉仕

■ 場所：グランビュー1階 クチーナチニヨ

■ 参加者：第5分科会（29名）

- ・リーダー：保坂充勇 PG
- ・アドバイザー：曾我隆一 PG
- ・ファシリテーター：保坂充勇 PG（沼田）、新井聡青少年交換委員会委員長（前橋西）、
小澤健一 R Y L A ・学友委員会委員長（高崎）、荻原靖規 RA 委員会委員長（太田）
- ・出席者：青少年委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA 委員会
- ・報告者：地区副幹事 久保満・小池達哉（高崎北 R C）

議題：青少年関連クラブ・委員会の理解促進と課題整理

青少年公開委員会・インターアクト・RYLA 委員会の理解度や課題、青少年奉仕活動への参加状況と周知不足、新たな支援の可能性、委員会活動の現状、ホストクラブ・継承クラブ以外のクラブの認識と交流、クラブ活動の理解と参加の重要性、青少年関連クラブの説明と理解促進、今後の活動への期待と協力依頼など、ディスカッションによる議論内容の発表を行いました。

1. 委員会活動の理解と課題

委員会活動の全体像が把握されておらず、理解不足が課題であることが共有された。特に青少年公開・インターアクト・RYLA 委員会については、活動の内容が不明瞭であり、実際に関わりながら理解を深める必要があるとの意見が出された。

2. 奉仕活動の周知と参加状況

活動に「参加しない」のではなく「できない」「内容が分からない」との声があり、情報の周知が不足していることが課題として確認された。また、米山奨学事業に注力しすぎて他活動への意識が希薄になっている傾向も指摘された。

3. 実務上の障害と新規活動への消極性

RYLA 委員長経験者からも活動内容を事前に把握できなかったという報告があり、青少年交換においてはホスト不足や面接の負担が大きいの意見が出された。新規のクラブ立ち上げやホストクラブ化に対して消極的なところがある。

4. 情報発信とクラブ間交流

提唱クラブ以外では活動実態が分かりづらく、年次大会の案内も届きにくいという課題が共有された。一方で、伊勢崎クラブのように他クラブと連携し、交流を深めている事例が紹介され、参考になるとの声があった。

5. 理解促進の取組と今後の対応

活動説明により理解が深まったとの報告が多く、「聞く・出る・やってみる」という姿勢が重要であるとの認識が一致した。今後の活動においても積極的な理解と関与が求められることが確認された。



[クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー]

第6分科会

ロータリー財団/
職業・国際・地域社会奉仕／国際大会

■ 場所：音楽センター第一会議室

■ 参加者：第6分科会（79名）

- ・リーダー：森田高史 PG ・サブリーダー：山田邦子 PG
- ・ファシリテーター：森田高史 PG（伊勢崎）、山田邦子 PG（前橋）、小林洋樹 R 財団委員会委員長（前橋）
水石清治ポリオプラス委員長（沼田）、唐沢健二地区補助金委員会委員長（中之条）
石川好男グローバル補助金委員会委員長（太田）
金井利明資金管理・平和フェロシップ委員会委員長（伊勢崎中央）
川鍋太志国際大会推進委員会委員長（前橋南）、石原保幸職業奉仕等委員会委員長（前橋東）
- ・出席者：ロータリー財団委員会、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会、地域社会奉仕委員会

1. 第6分科会の趣旨と進行説明

森田氏より、本セッションの目的として、クラブ委員会事業計画立案のヒントを得ることが強調されました。

2. 事業計画立案の目標と成果物

事業計画立案における成功の定義として、委員会のオークションセットの作成、具体的な事業計画の策定、財団基金推進方法の確立など、十項目が挙げられました。最終的な成果物として、各クラブはクラブ現況報告書を作成し、2025年8月末までに竹中ガバナー事務局へ提出することが求められています。

3. ディスカッショングループの代表による発表内容

- ・財団への寄付依頼の効果的な方法
- ・財団補助金を使ったクラブの事業が地域にどう貢献していると思うか
- ・国内外の友好クラブと共同プロジェクトを実施する可能性について
- ・国際大会の参加ロータリアンが得るものをいかに会員に伝えられるか
- ・ポリオ根絶プログラムと国際奉仕について

1. 募金手法と補助金運用、国際大会参加及びワクチン基金への取り組み

・財団の募金方法と意識の現状調査

グループ①の発表では、各クラブが会費や個人募金を通じて資金を集める方法や、募金に対する意識の低さが課題として挙げられました。会費として集めるクラブや個人で集めるクラブがあり、募金の経緯や方法が十分に理解されていない現状が指摘されました。須崎さんによる個人ごとの寄付額の集計や、クラブの年次寄付・補助金リサイクルズの事例を参考に、集金方法や補助金の還元状況について説明がありました。また、例会で募金の趣旨を説明しながら個別に集めているクラブの事例も紹介され、補助金やグローバル補助金の仕組みや返還額についても学びがあったと報告されました。

・国際奉仕、社会奉仕およびワクチン基金に関する課題

グループ②では、各委員による社会奉仕の現状報告や、グローバル補助金申請の難しさについて意見交換が行われました。山田PGの経験をもとに新制度への申請構造や姉妹クラブとの連携について助言がありました。募金の集め方については、会費と一緒に集める方法やボックス設置など、クラブごとの多様な方法が紹介され、財団寄付の使途を会員に周知し自主的な寄付を促す必要性が議論されました。ワクチンについては、数年前にワクチン絶滅が話題となったものの、コロナや戦争の影響でポリオが再発したこと、ワクチン継続接種の重要性、ポリオワクチン基金の意義が強調されました。国際大会参加者の増加策として、専門家を招いてアピールする取り組みや、今後の活動への活用が報告されました。

2. 組織運営改善、寄付・補助金の活用、国際大会および社会奉仕活動の推進

・各委員会の目標設定と意見交換

各委員会で目標設定が行われているかどうか、クラブ方針に沿った指導方法、勉強報告書のインターネット活用の有無などが議論されました。目標設定が未実施のクラブもあり、今後の方針として目標設定の重要性が確認されました。

・例会活動と寄付方法の工夫

例会中に参考となる取り組みの紹介や、毎年グラム目標達成のための協力体制、1000円や2000円など具体的な金額設定による寄付方法、ニコニコボックスや紙に記録する方式など、寄付の集め方の工夫が共有されました。

・貯金およびシェアシステムの提案

高額納税者への負担軽減策として、貯金の利益やシェアシステムの説明を徹底し、全員に趣旨を伝えることの重要性が指摘されました。小額でも積み上げるスタイルや、祝い事をテーマにした寄付方法など、具体例が挙げられました。

・事業計画作成と国際大会参加の展望

5月頃の事業計画作成の進捗や、路辺会合・家庭での委員会集会といった文化の紹介、国際大会への参加経験や今後の参加意欲が共有されました。国際大会参加者が少ない現状を踏まえ、参加促進のためのアピールや計画策定の必要性が議論されました。

・財団事業と補助金活用の新たなアプローチ

各クラブの財団事業の取り組みや、動画補助金を活用した新しい方法、会費や例会での寄付方法、社会奉仕・職業奉仕・投資活動に関する意見交換が行われました。自クラブから積極的にアプローチする補助金活用の提案もありました。

・職業奉仕活動と体験共有

職業奉仕委員会の委員長として、職場訪問や高校訪問を通じて自身の職業・経験を社会奉仕に結び付ける取り組みや、四つのテストの浸透、成功事例の共有が議論されました。職業奉仕の意義を再認識する機会となりました。

・補助金使用の検証とニーズ共有

農地補助金やグローバル補助金申請の難しさ、補助金が実際に使われているかの検証、各クラブの支援ニーズの把握や、ニーズの取り方（市長や市議会、教育委員会へのヒアリングなど）の共有、成功・失敗事例の共有の重要性が話し合われました。

・在来活動と障害者支援の共有

在来クラブの集金方法や伝え方の工夫、障害者支援事業の実績、使途の見える化の重要性について意見交換がなされました。全員が納得して協力できる仕組みづくりが強調されました。

・国際大会および台湾対応の戦略

国際大会への参加経験や、参加者がいないクラブの現状、台湾での有効クラブとの連携の可能性、昨年度の国際大会主席委員長の経験を活かした参加促進策など、今後の国際交流戦略について議論されました。

・ガバナー経験者の活用とリーダー育成

ガバナーやバストガバナー経験者の意見を踏まえ、組織の根幹を再確認し、経験者を各クラブで活用することや、リーダーシップ育成の必要性が議論されました。ガバナー経験者の行動がクラブの成長に寄与するとの意見もありました。

・社会・職業募集の再活性化

コロナ禍を理由に停滞している社会奉仕や職業奉仕活動について、コロナ前の活動実績を振り返り、再挑戦の必要性が話し合われました。今後の活動再開に向けた意欲が共有されました。

・寄付活動のユニークな事例と地域貢献

シルバークラブでの「カレーの日」など、食事をカレーに限定し、その分の費用を寄付に回すユニークな取り組みや、子どもたちの未来を応援するテーマを掲げた地域貢献活動など、特徴的な事例が紹介されました。

・有効クラブとの共同プロジェクトの可能性

国内外の有効クラブと共同プロジェクトを実施する可能性についても議論され、現状は実施例が少ないものの、今後の展開に期待が寄せられました。



〔クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー〕

第7分科会

米山記念奨学

■ 場所：グランビュー 2階チャペル

■ 参加者：第7分科会（29名）

- ・リーダー：竹内正幸 PG ・サブリーダー：福田一良 PG
- ・ファシリテーター：竹内正幸 PG、後藤圭一地区幹事（桐生）、樋口哲雄地区幹事（高崎北）、
矢内良春米山記念奨学委員長（伊勢崎南）
- ・出席者：米山記念奨学

ロータリークラブにおける米山奨学生制度の現状、課題、活性化策、受け入れ体制、サポート活動、今後の方向性などについての議論をまとめたものです。各クラブや地域での理解度や運営方法の違い、奨学生の多様性、交流活動、予算課題、カウンセラーの役割など多角的な視点から現状分析がなされており、今後の改善や具体的なアクションプランも整理されています。最後に、全体のアクションアイテムを集約し、今後の取り組みの指針としています。

1、米山記念奨学生の理解度とクラブ活性化

クラブごとに米山奨学生への理解度にはばらつきがあり、特に年齢の高い会員は理解度が薄い傾向が指摘された。入会年数の違いによる理解度の差も顕著で、コロナ禍以降に入会した会員と古参会員で理解度に差が生じている。米山記念奨学生を受け入れているクラブでは、理解度が深く、寄付目標も達成しているとの報告があった。預かっているクラブのメンバーは意識が高く、クラブ全体の活性化にもつながっている。新しく入会した会員向けに勉強会を開催する必要性が提起されており、特に新規会員や理解度の低い会員への教育が重要視されている。奨学生が月に1回以上クラブに来てスピーチを行い、会員が直接話を聞くことで理解を深める取り組みが提案された。これにより、奨学生の活動や米山制度への理解が促進される。「一人預かれればクラブは活性化する」との意見があり、クラブメンバー全員が意識を持つことで理解度も深まるとされた。奨学生の受け入れがクラブの活性化に直結するとの認識が共有された。外国人奨学生の「生の声」を聞くことで、現地の話や異文化理解が進み、クラブの活性化につながるとの意見が出た。ウクライナやイラン出身の奨学生がクラブで話をした事例が紹介され、外国人のリアルな体験談が会員の刺激となっている。海外旅行への関心もクラブ活性化の一助になるとの意見もあり、実際に奨学生の母国を訪問する活動が行われている。卒業後、奨学生は校友会に入るが、校友会内でのつながりが薄くなる課題がある。卒業後の心境の変化や経験を共有できるよう、「数年後に必ず戻ってきてスピーチをする」契約を結ぶ案が提案された。

米山奨学金はもともと外国人向けだが、50年以上経過した今、日本人にも一部開放してはどうかという意見が出された。今後の制度運営方針の議論が求められている。

2、受け入れ大学・地域ごとの課題と多様性

受け入れ大学が減少している現状が報告された。例として、群馬大学は優秀な学生が多い一方、関東学園はレベルの違う生徒も多く、受け入れ人数に差が出ている。地域ごとに受け入れ人数のばらつきが生じており、これは地域特性によるものと認識されている。地区ごとにばらつきが出るのはやむを得ないが、委員会よりも地区単位で平均化を図るべきとの意見があった。

中国人奨学生が多いという課題が以前から指摘されており、他国からの奨学生比率を上げるべきとの意見が出された。国別のバランスや多様性の確保が今後の課題となっている。

3、クラブ・分区単位での学生サポートと予算課題

分区単位では様々な事業に参加しているが、クラブ単位での合同事業やIM（インターシティミーティング）で奨学生を紹介することで、預かっていないクラブにも良い影響があるとの意見が出た。クラブ間の交流や合同イベントの実施が推奨されている。6万円の予算があるが、夜間例会などで費用がかさみ、現状では十分でないとの指摘があった。予算を増額できれば、より多くの活動や案内が可能になるとの要望が出された。予算の使途や増額の必要性についても議論された。

4、米山記念奨学生制度への理解度と課題

メンバーや米山記念奨学生との関わり方によって、制度への理解度に大きな温度差があるとの指摘があった。奨学生の年度によっても、コミュニケーション能力の違いから理解度に差が生じている。カウンセラーのまとめ方によっても、クラブ内の理解度が変わる傾向があるが、概ね理解は得られている。カウンセラーの役割がクラブの理解促進に大きく影響している。「日本と母国の架け橋になる」という理想が掲げられているが、実際には多くの米山記念奨学生が日本に残り、就職している現状がある。制度創立当初と現在では社会背景が大きく変化しており、理想像も時代に合わせて更新すべきではないかという意見が出た。架け橋の具体的なあり方や、米山記念奨学生に求める行動について明確な資料や指針が少ないため、今後はより具体的な理想像を示す必要があるとの指摘があった。日本に残る米山記念奨学生については、今後の日本社会において外国人労働者の受け入れが不可欠となる中で、日本をよく理解し、能力の高い米山記念奨学生が日本に残ることはむしろ望ましいという意見もあった。ネット環境の発達により、母国に戻らなくても日本の紹介や発信は可能であり、日本に残って活躍することも「架け橋」の一つの形であると考えられる。

5、クラブ・分区単位での交流・サポート活動

クラブ単位や合同でのイベント（例：ピザパーティー、もちつき、キムチづけ体験、児童養護施設との交流など）が実施されており、奨学生同士やクラブ間の交流をさらに盛んにしていくべきとの意見があった。一緒に楽しむ活動が学生のサポートにつながるという考えが共有された。サポートの内容については、金銭的なものだけでなく、性格面や体験活動など多岐にわたるとの認識が示された。クラブや分区ごとに特色あるサポート活動が行われている。地区委員やカウンセラー同士の連携が十分でない現状があり、グループLINEなどを活用した情報共有の仕組みづくりが提案された。例えば、カウンセラーセミナーの場でグループLINEを作成し、イベントや活動の情報を共有・連携することで、クラブ間の関わりが深まり、米山記念奨学生の生活向上にもつながると考えられている。

6、米山記念奨学生受け入れによるクラブ活性化

企業でも外国人の受け入れが進んでいる現状を踏まえ、米山記念奨学生の受け入れはクラブにとっても異文化理解や若年層の参加促進につながると評価された。日本語が堪能な米山記念奨学生も多く、異文化交流の機会としても有意義である。若い世代の参加によってクラブの年齢層が下がり、活動が活性化する効果が期待されている。米山記念奨学生の受け入れがクラブの活性化に寄与しているとの意見が複数出された。

7、米山記念奨学制度に関する知識・関心の差

制度に非常に詳しい「米山バカ」と、あまり関心や知識のない「米山素人」が存在するという表現が紹介された。制度への関心や理解度の差がクラブ内外で話題となっている。委員長とカウンセラーの違い、留学生の国別人数の決定方法、学校ごとの人数割り振り方法など、米山バカの先生方から学んだ知識が共有された。

クラブによって寄付の集め方が異なり、年会費と一緒に米山の寄付を定額で集めているクラブは現在16クラブ存在する。自クラブもこの方式を採用しているが、この方式ではメンバーが寄付を支払っている意識が希薄になる可能性がある。他のクラブでは、委員長が予算達成のために個人で多く寄付を支払うケースもある。

8、他地区共同プログラムおよび国際交流活動

昨年と今年、2年続けて奨学生の母国実家を訪問する活動を実施。昨年はベトナムの男の子の実家を訪問し、今年3月にはネパールを訪問。米山奨学生に地元クラブを探してもらい、公式訪問を実現した。観光中に偶然ロータリークラブの例会に参加し、現地で心臓病の課題について話し合い、グローバル補助金の活用可能性について議論した。今年はモンゴルの女性（子供あり）の実家訪問を検討中。昨年の訪問で、現地クラブとの交流を持つべきだったという反省があり、今後は現地クラブとの連携も重視されている。これらの活動がクラブの活性化につながっていると評価されている。

9、米山記念奨学会の今後のあり方と課題

日本人への支援も検討すべきとの意見がクラブ内で出ている。設立から長年経過し、国ごとの事情が大きく変化しているため、従来の「日本から海外への一方的な国際協力支援」だけでなく、現状に即した対応が必要とされている。セキュリティクリアランスや留学生の情報流出など、社会的な課題が増加している。高崎で日本語学校を運営している会員より、留学生の免許切り替えが簡単にできてしまい事故が発生するなどの問題があると報告された。外国人が増加する中、国として外国人との付き合い方を再考する必要性が指摘されている。ロータリーとしても、時代の変化に対応した制度運営が求められている。

10、クラブ単独活動とカウンセラーの役割

カウンセラーの役割が非常に重要であり、クラブ全体でカウンセラーを応援し、カウンセラーになることも推奨されている。カウンセラーの活動がクラブの理解度や活性化に直結している。時代が変化している現実を踏まえ、変化に対応することが重要との意見が出た。最近、中国への修学旅行に対して外務省が注意喚起を出している事例や、中国人留学生が多い現状について、「頭のいい悪い」だけでなく、本当に良いことなのかを考える時代になっているとの指摘があった。

11、今後の課題と解決策

会員と奨学生の交流の場を広げ、意見交換の機会を増やすことで、理解度や給付金の向上が期待できる。奨学生を含めた魅力的な例会の企画を、早い段階から検討していく必要があるとされた。カウンセラー同士や地区委員間の情報共有体制が不十分であり、グループLINE等の仕組み導入とその運用ルールの策定、カウンセラー体制強化策の具体化が求められている。

改善プラン

会議内で結論が出ていない、または明確なアクションが定まっていない重要課題は以下の通りです。ご注意ください。

- > 1. 米山記念奨学生制度に関するクラブごと・会員ごとの理解度や関心の格差が大きく、特に新入会員や理解度の低い会員への勉強会開催、奨学生による定期的なスピーチ機会の具体的な実施方法・担当・時期が未決定であり、制度全体の理解促進と情報共有体制の強化が急務となっています。
- > 2. 「日本と母国の架け橋」という米山記念奨学生制度の理想像と、実際に多くの奨学生が日本に残る現状とのギャップが指摘されているものの、時代に即した新たな理想像や奨学生に求める行動指針・資料の作成、卒業後の奨学生との関係維持策（例：スピーチ契約案等）の具体化が進んでおらず、今後の制度運営方針の明確化が必要です。
- > 3. 受け入れ大学の減少や地域ごとの受け入れ人数のばらつき、クラブ・分布単位での交流活性化策、現状不足している予算の増額可否や財源確保など、受け入れ・サポート体制と運営資金に関する具体的な対応策が未定であり、制度の持続的運営に向けた早急な検討が求められています。
- > 4. 留学生のセキュリティクリアランスや情報流出、免許切り替えによる事故など、外国人対応に関する具体的なリスクへのクラブとしての対応方針や対策が不明確であり、今後のリスクマネジメント体制の構築が必要です。
- > 5. カウンセラー同士の情報共有体制が不十分であり、グループLINE等の仕組み導入とその運用ルールの策定、カウンセラー体制強化策の具体化が未決定となっています。



【竹中年度事業】

第4回 青少年交換委員会

- 日 時： 2025 年 5 月 25 日 16：00～
- 場 所： ガバナー事務所
- 参加者： 竹中 隆ガバナー・新井 聡委員長・久保貴則副委員長
荒木千津子委員・宇田榮二委員・小中和子委員・小暮健一委員・前原信之委員・
吉井宏文委員・小林晴彦副幹事
- 報告書： 小林晴彦副幹事

議 事

1, 24-25 年度引継ぎ確認

- ・ 交換同意書の確認 現在派遣 3 名分 次年度派遣 3 名分
- ・ YESS システム登録状況の確認

2, 竹中ガバナーエレクト面談報告

- 「25-26 年度 オーストラリア派遣学生について」
→オーストラリアの派遣学生について吉田現委員長が意思の再確認を行う
派遣意思の確認後、久保次年度副委員長が交換学生の有無の確認を行う
竹中ガバナーエレクトの面談予定日 7/5・6・12・20

- 「ホストクラブへの支給について」
→添付資料参照

3, 上半期予定について

- 店舗資料参照

4, その他

- ホストファミリーのオリエンテーションの開催を希望
6/28 短期の学生が来るので 6/15 に短期の方だけでも行いたい
6/15 にホストファミリーに基本的な話をする
急ぎで ホストファミリーに参加して頂けるように案内をする

- 学生のマンスリーレポートは先ず紙面でカウンセラが確認する事
カウンセラ確認後、クラブを通じて地区へ提出してもらう

- ホストクラブとの連絡網の改善が必要である



地区内クラブ奉仕事業のご紹介（前橋西 RC）

前橋西ロータリークラブ

- 記入者 黒岩千春（パスト会長）
- プロジェクト名 模擬面接
- 目的 社会奉仕、職業奉仕
- 対象（受益者） 前橋商業高等学校 3 年生約 70 人
- 参加者 前橋西クラブ会員約 20 人
- 費用 なし
- 実施期間 1 日

活動内容

私たち前橋西ロータリークラブは、前橋商業高校の就職希望者向け模擬面接を 2006 年から実施しています。この取り組みのきっかけは、もともと同校とはインターアクトを通じてつながりがあり、また OB も多数会員にありました。高校生に向けて何らかの奉仕活動ができないかと、学校と相談しこの奉仕活動がスタートしました。

当時は就職氷河期と呼ばれる厳しい時代。学校での面接練習では得られない緊張感と実践的な経験を提供するため、クラブの経営者たちがマンツーマンで面接官を務めることになりました。一人約 10 分の面接時間で、採点表をもとに評価し、具体的なアドバイスを行っています。

面接を重ねるうちに見えてきたのは、質問例文集を丸暗記したような画一的な受け答えの多さでした。「もっと自然に、自分の言葉で話してごらん」—これが私たち面接官からの一番のメッセージです。優等生的な”完璧な”答えより、その生徒自身の人間性や内面が伝わる言葉を聞きたいのです。

毎回実施後にはアンケートを取り、学校側と密に連携しながら改善を重ねてきました。ロータリアンとして職業経験を活かした奉仕ができること、そして多種多様な職業人が集まるロータリーだからこそできる取り組みとして、地域の若者の成長に貢献できることに大きな喜びを感じています。



活動成果

20 年間続けてきたこの模擬面接は、前橋商業高校の就職率向上に貢献するとともに、生徒たちの自己表現力と自信を育む機会となっています。毎年寄せられる生徒と教員からの感謝の声が私たちの励みです。今後は市内 6 ロータリークラブとの連携や他校への展開も視野に入れ、より多くの若者に実社会を知る機会を提供し、同時にロータリーの職業奉仕の精神を広く伝えていきたいと考えています。

卓話・研修 出前サービス 実施のご案内

2025年6月吉日
 国際ロータリー第2840地区
 2025-2026年度
 ガバナー 竹中 隆
 地区ラーニングファシリテーター 田中 久夫

拝啓 薄暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、次年度も例年通り、地区のクラブに対するサービスとして、「卓話・研修 出前サービス」を継続実施致します。

本企画は、地区内ロータリークラブに最新の正しい「ロータリー情報」を伝達するとともに、各クラブ会員にロータリーの理念と実践に関する認識を深めていただくために、「ロータリー情報」の各個別テーマに造詣の深い地区指導者を各クラブ（または分区・グループ単位）の要請に応じて派遣する、地区のクラブに対するサービスです。魅力的なクラブづくりには是非、様々なテーマでご活用いただければ幸いです。

敬具

記

【サービス・メニュー】

1. ロータリー・カレンダーによる特別月間の卓話 講師派遣
 テーマ該当地区委員長（または委員・パストガバナー等）が対応する。
2. 「ロータリー財団」に関する卓話・研修
 ロータリー財団委員会が対応する
3. 「ロータリーの歴史・理念」の卓話講師派遣
 パストガバナーが対応する。
4. 元気なクラブづくり（CLP）・クラブ活性化に関する卓話・研修
 本田博己パストガバナー、竹内正幸パストガバナー、森田高史パストガバナー、足立進パストガバナーが対応する。
5. クラブ会員研修・新会員研修等の講師派遣
 地区ラーニング・管理運営委員会、RLI 推進委員会 が対応する。
6. その他 クラブのニーズによる依頼

【運営手順】

1. クラブは上記サービス・メニューおよび「テーマ別派遣講師一覧」（別紙）を確認し、希望内容を「卓話・研修出前サービス 講師派遣依頼申込書」（別紙フォーマット）に記入し、1か月前までに申し込む。
2. 地区ラーニング・管理運営委員会は、依頼内容に相応しい講師に講演依頼し、日程調整をして、ガバナー決裁の後、各クラブに通知する。
3. 講師謝礼（交通費として）は、一律2,000円とし、依頼クラブが負担する。（派遣講師に直接お渡しください）
4. 竹中年度のサービスは7月より開始します。サービスの事務局は地区ラーニング・管理運営委員会です。

以上

出前卓話 テーマ別 派遣講師一覧

	テーマ	講師名	クラブ
A	ロータリー全般	清 章司 PG	藤岡
		山崎 學 PG	高崎南
		福田 一良 PG	前橋西
		安藤 震太郎 PG	高崎北
		疋田 博之 PG	桐生
		本田 博己 PG	前橋
		生方 彰 PG	沼田中央
		宮内 敦夫 PG	館林
B	クラブのビジョン・戦略計画づくり	本田 博己 PG	前橋
		田中 久夫 PG	高崎
		森田 高史 PG	伊勢崎
C	地区のビジョン・行動計画	田中 久夫 PG	高崎
		保坂 充勇 PG	沼田
		森 末廣直前 G	桐生
		三好 建正 GE	安中
		湯澤 晃 GN	前橋北
D	ロータリー財団	森田 高史 PG	伊勢崎
	ロータリー財団	小林 洋樹	前橋
	・資金推進 ポリオプラス	水石 清治	沼田
	・地区補助金	唐沢 健二	中之条
	・グローバル補助金	石川 好男	太田
	・資金管理、平和フィロソフィ	金井 利明	伊勢崎中央
E	奉仕プロジェクト	山田 邦子 PG	前橋
	A 青少年奉仕プログラム	保坂 充勇 PG	沼田
	A- 1 青少年交換	新井 聡	前橋西
	A- 2 インターアクト	関口 知義	前橋
	A- 3 RYLA・学友	小澤 健一	高崎
	B 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕	石原 保幸	前橋東
F	ローターアクト	荻原 靖規	太田
G	米山記念奨学会	竹内 正幸 PG	太田
		田中 久夫 PG	高崎
		矢内 良春	伊勢崎南
H	ロータリーの友（雑誌）	関 真一	沼田
I	ロータリーの歴史・理念	曾我 隆一 PG	前橋
		横山 公一 PG	沼田
		本田 博己 PG	前橋
J	クラブ研修・新会員研修・管理運営等	地区ラウンジ・管理運営委員 RLI 推進委員	
K	公共イメージ・環境・ICT	足立 進 PG	前橋東
		中野 正美 PG	太田
		前田 修	前橋
L	会員増強（会員組織強化）	牛久保哲男 PG	伊勢崎
		中野 正美 PG	太田
		担当のガバナー補佐	
M	DEI 推進	竹内 正幸 PG	太田
		山田 邦子 PG	前橋
		佐藤 貴江	高崎
N	国際大会推進（ワツ・台北）	川鍋 太志	高崎南
O	元気なクラブづくり（CLP）・クラブ活性化	本田 博己 PG	前橋
		竹内 正幸 PG	太田
		森田 高史 PG	伊勢崎
		足立 進 PG	前橋東
P	危機管理	森田 均 PG	渋川
Q	審議会立法案	曾我 隆一 PG	前橋
		本田 博己 PG	前橋
		足立 進 PG	前橋東

卓話・研修出前サービス講師派遣依頼申込書

下記内容にて、講師の派遣を依頼します。

ク ラ ブ 名	ロータリークラブ
テ ー マ	
希 望 講 師 名	(空欄でも可)
希 望 形 式	<input type="checkbox"/> 例会卓話 <input type="checkbox"/> 会員研修 <input type="checkbox"/> その他
希 望 日 時	20 年 月 日 (曜日) 時 分～
講 演 時 間	分
会 場	
所 在 地	
会 場 電 話	- -
担 当 者 名	
ク ラ ブ 役 職	
連 絡 先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 事業所 <input type="checkbox"/> クラブ事務局
連 絡 先 電 話	- -
連 絡 先 FAX	- -
メールアドレス	

*送付先：ガバナー事務所 FAX：02-212-2841 / E-mail takenaka@rid2840.jp

ご案内

ロータリー 2840 地区大会のご案内

開催日時 2025年10月24日(金)午後・10月25日(土)午後

開催日時 ホテルメトロポリタン高崎(高崎市八島町222番地)

高崎芸術劇場 大劇場(高崎市栄町9-1)

10/24(金)午後より ■ホテルメトロポリタン高崎

- ・地区リーダーシップセミナー [RI 会長代理講演]
- ・RI 会長代理歓迎晩餐会

10/25(土)午後より ■高崎芸術劇場大劇場

- ・農大二高吹奏楽部とシャインスターズによる歓迎演奏
- ・RI 会長メッセージ・現況報告
- ・定例プログラム
- ・ポリオデー関連プログラム

■ホテルメトロポリタン高崎

- ・大懇親会

第2840地区 地区大会記念ゴルフ大会のご案内

開催日時 令和7年9月27日(土)午前7時より

開催日時 サンコーカントリークラブ

〒370-2131 群馬県高崎市吉井町岩崎2179
TEL 027-388-2800

ホスト 高崎東ロータリークラブ

*詳細については決定次第ご案内させていただきます。

国際ロータリー第 2840 地区 2025-2026 年度

ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか 1 名の計 3～4 名が原則訪問します。
3. **公式訪問前クラブ協議会の実施**

ガバナー補佐は、公式訪問前 2 週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。

また、その結果を所定の様式にて公式訪問の 1 週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. **クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明**

ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを 10 分～15 分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. **公式訪問の進め方**
 - (1) クラブ役員との懇談会（例会前 50 分）

会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会
ガバナースピーチとして 20 分程度時間を割いてください。PC、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
 - (3) クラブ協議会（例会後 60 分）

懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。

 - ①クラブの課題
 - ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
 - ③地区運営に関するクラブのご意見
6. **公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。**

個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。

 - ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
 - ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
 - ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。
7. 各クラブは現況報告書（4 部）を 8 月 31 日までにガバナー事務所に提出してください。

9 月 13 日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問 2 週間前までに提出してください。

2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表

2025年 8月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 桐生 (第2分区A)	19	20 桐生南 (第2分区A)	21	22 桐生西 (第2分区A)	23
24/31	25	26 桐生赤城 (第2分区A)	27	28	29	30

2025年 9月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2 富岡かぶら (第6分区)	3 館林東 (第4分区B)	4	5 藤岡南 (第6分区)	6
7	8	9 伊勢崎南 (第2分区B)	10 新田 (第4分区A)	11 館林 ミレニアム (第4分区B)	12	13
14	15	16 安中 (第6分区)	17 富岡 (第6分区)	18 藤岡 (第6分区)	19 館林 (第4分区B)	20
21	22	23	24 伊勢崎 (第2分区B)	25 富岡中央 (第6分区)	26 太田中央 (第4分区A)	27
28	29	30				

2025年 10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 大泉 (第4分区B)	2 沼田中央 (第5分区)	3	4
5	6	7 藤岡北 (第6分区)	8 太田西 (第4分区A)	9 碓氷安中 (第6分区)	10	11
12	13	14 沼田 (第5分区)	15	16 渋川 (第5分区)	17 前橋西 (第1分区)	18
19	20	21	22	23	24 (地区RSS)	25 (地区大会)
26	27	28 中之条 (第5分区)	29 前橋南 (第1分区)	30 群馬境 (第2分区B)	31	

2025年 11月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4 渋川みどり (第5分区)	5 前橋中央 (第1分区)	6 太田 (第4分区A)	7	8
9	10 伊勢崎東 (第2分区B)	11 太田南 (第4分区A)	12	13 伊勢崎中央 (第2分区B)	14	15
16	17	18	19	20	21 高崎 シンフォニー (第3分区)	22
23/30	24	25 前橋 (第1分区)	26	27 前橋東 (第1分区)	28	29

2025年 12月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 高崎 (第3分区)	2 高崎南 (第3分区)	3	4	5	6
7	8 前橋北 (第1分区)	9 高崎 セントラル (第3分区)	10	11 高崎東 (第3分区)	12	13
14	15	16	17 高崎北 (第3分区)	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2025-2026 年度 地区主要行事予定表

日付	時間帯	項目	場 所
2024 年			
9月	1(日)	竹中ガバナーエレクト事務所開設	
	8(日)	10:30～ ★第2回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	8(日)	13:00～ ★第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議(森年度主催)	前橋商工会議所会館
11月	16(土)	16:00～ 第1回ガバナー補佐会議	たかさき書齋
12月	7(土)	14:00～ 第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	ロイヤルチェスター前橋
	10(火)16(月)～20(金)	委員長予定者ヒアリング	ガバナー事務所
2025年			
1月	25(土)	16:00～ ★第3回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
	25(土)	18:00～ ★竹中ガバナーエレクト壮行会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
2月	2(日)	13:00～ 第1回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	2(日)	14:00～ 第2回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	2(日)	15:00～ 第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	9(日)～13(木)	国際協議会(竹中ガバナーエレクト出席)	オーランド(フロリダ州)
	22(土)	10:00～ ★第4回ガバナー諮問委員会・GE報告(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	22(土)	13:00～ 地区チームラーニングセミナー	前橋商工会議所会館
	22(土)	16:00～ 第2回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋商工会議所会館
3月	1(土)	午後 ★(米山奨学生修了式/歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	8(土)～9(日)	10:00～ 会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
	27(木)～30(日)	★(インターアクト台湾国際交流事業)	台湾
4月	5(土)	14:00～ ローターアクト研修	高崎市総合福祉センター
	13(日)	10:00～ 第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	13(日)	13:00～ 第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	20(日)	午前 ★(新規米山奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後 ★(新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後 ★(継続米山記念奨学生資格面談)	前橋問屋センター会館
5月	18(日)	終日 クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 式典	群馬音楽センター
	18(日)	夜 クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	ホテルグランビュー高崎
6月	7(土)	午後 ★(米山記念奨学生指定校選定会議・米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	14(土)	午後 ★第5回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	たつ吉
	14(土)	午後 ★現新地区役員合同連絡会議(森年度主催)	たつ吉
	15(日)	★(青少年交換受入学生歓送会・長期派遣学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	16(月)	15:00～ クラブ管理運営セミナー	高崎商工会議所6階ホール
	21(土)～25(水)	★国際大会	カルガリー
7月	1(土)	竹中ガバナー事務所開設	
	13(日)	10:00～ 第1回ガバナー諮問委員会	ホテルグランビュー高崎
	13(日)	13:00～ 第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルグランビュー高崎
	16(水)	18:30～ <ロータリー野球大会コミッショナー会議>	ホテルグランビュー高崎
	19(土)	9:50～ (インターアクト年次大会)	前橋市民文化会館
8月	3(日)	13:00～ (RLIファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	24(日)	13:30～ クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
	26(火)	13:00～ (米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	30(土)	午前 <ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	31(日)	青少年交換長期受入学生歓迎会・派遣学生帰朝報告会	ホテルサンダーソン
9月	1(土)	三好ガバナーエレクト事務所開設	
	6(土)	午前 <ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド

	日付	時間帯	項目	場 所
9月	13(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	13(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	14(日)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	14(日)	午後	第4回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	14(日)	15:30~	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	15(月・祝)		(青少年交換派遣学生選考会)	前橋問屋センター会館
	20(土)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	27(土)		地区大会記念ゴルフ大会	サンコーカントリークラブ
	28(日)	終日	(R L I セミナー Part I)	前橋問屋センター会館
10月	4(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	4(土)	午後	(地区米山研修セミナー)	前橋問屋センター会館
	19(日)	終日	(R L I セミナー Part II)	前橋問屋センター会館
	19(日)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
	24(金)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	24(金)	夜	R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	午後	地区大会 式典	高崎芸術劇場
	25(土)	夜	地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎
11月	7(金)~9(日)		(ロータリー全国選抜野球大会)	
	9(日)	終日	(R L I セミナー Part III)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ロイヤルチェスター前橋
	29(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ロイヤルチェスター前橋
			新会員セミナー	
12月	6(土)	午後	第3回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
		夕方	三好ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋
	8(月)		クラブ管理運営セミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
			(R Y L A 研修セミナー)	
2026年				
1月	11(日)~15(木)		国際協議会(三好ガバナーエレクト参加)	オーランド(フロリダ州)
	24(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
2月			(職業奉仕セミナー)	
	14(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
	14(土)	午後	地区チームラーニングセミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
	23(月)		ロータリーデー	
3月			(ローターアクト年次大会)	
	7(土)	午後	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	15(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー(三好年度)	磯部ガーデン
	20(金・祝)	午後	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
			(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)	
4月	18(土)	午前	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
		午後	(継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館
			新会員セミナー	
			(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)	
5月			(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)	
	16(土)	午後	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館
	16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(三好年度)	
6月	13(土)~17(水)		国際大会	台北
	20(土)	午後	(米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	20(土)	午後	(米山記念奨学生指定校選定会議)	ロイヤルチェスター前橋
	27(土)	午後	第4回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
		午後	現新地区役員合同連絡会議	ロイヤルチェスター前橋
			(青少年交換受入学生歓迎会・夏季交換学生歓迎会)	

2025-2026 年度 周年行事・IM 開催予定表

2025-2026 年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	4	11	土	60	桐生南RC	美喜仁桐生文化会館
2026	4	12	日	40	沼田中央RC	ホテルベラヴィータ
2026	4	19	日	30	高崎シンフォニーRC	ホテルメトロポリタン高崎
未 定				25	藤岡南RC	未 定

2025-2026 年度 IM 開催予定表

年	月	日	曜日	区 分	場 所
				第1分区	
				第2分区A	
				第2分区B	
				第3分区	
				第4分区A	
				第4分区B	
2025	11	24	月・祝	第5分区	
				第6分区	



第2地域 2024-25年度 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町 RC）

4月のRI理事会において、「ロータリーコーディネーター(RC)」の呼称が「ロータリー会員増強コーディネーター(RMC)」に変更されました。私たちの活動目的が、より一層明確となりました。クラブがもっと元気になるよう、クラブの活性化と会員増強に注力してまいります。皆さまのクラブがより活気に満ち、地域に根ざした存在として輝き続けるよう、私も微力ながらお力添えできればと存じます。また、今年度、コーディネーターニュースの取りまとめも担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



「行動が変われば結果が変わる」—各地で既に第一歩が始まっています—

ご相談いただいた地区・クラブにおいて、私からご提案している「会員増強のための具体的な3つの手法」をご紹介します。お役立てください。

←パワーポイントなどの資料データはこちら https://drive.google.com/drive/folders/1DcVVa6EoPLclwPsi968L59ZEmSZpFmi?usp=drive_link

① 戦略的オープン例会の勧め：

戦略的オープン例会では緻密な行動でゲストの入会率を上げていきます。ゲストは心細さ、アウェイ感、居心地の悪さ、不安を感じるものです。年間スケジュールに「戦略的オープン例会」を設定し、計画的かつ丁寧な準備を行うことで、ゲストにとって温かく、安心して参加できる雰囲気をつくれます。皆さんでお誘いをして、複数のゲストをお招きし、クラブの魅力を発信しましょう。

ドキドキ ドキドキ



具体策：招待状を丁寧に発送（口頭のみは NG / 元会員・学友も対象に）・共通点のあるメンバーと同卓になるよう座席を工夫・出迎えやテーブルマスターの配置など役割分担を明確に・ゲストの名前を呼び、笑顔で賑やかに歓迎・知名度や人気のある卓話者を招く・ゲストにもマイクを渡し、自己紹介や感想を話してもらう・クラブ週報や地域のロータリー雑誌を贈呈し、ロータリーを紹介・例会後、礼状や当日の写真を送付して定期的にフォローアップ・地区リーダーにゲスト歓迎のスピーチを依頼・会長から閉会時に歓迎のメッセージを伝える。

② ロータリー衛星クラブの設立：創立会員が 8 名集まれば、スポンサークラブのもとで衛星クラブの設立が可能です。若手

経営者や学友など、時間や会費の制約で入会をためらっていた方を対象にすることができ、クラブの柔軟な運営と新たな活力の創出につながります。スポンサークラブと衛星クラブの会員数は合算され、スポンサークラブにとっても会員数増加につながります。衛星クラブは独自の理事会をもち、定款細則に基づいて運営されますので、自主性を保ちながらも、ロータリーの理念を共有することができます。



創立会員 8 名

③ クラブ独自の会員種類の導入による退会防止と次世代会員の入会促進：クラブ独自の会員種類を導入し、退会の抑制と多様な層からの入会促進を図りましょう。会費の減額や入会金の免除など、金銭的な負担を軽減する柔軟な会員制度により、退会希望者の慰留・会員家族のスムーズな入会導線の確保・多様な人材を受け入れるクラブ風土の形成が実現します。

シニア会員



具体的な会員種類：シニア会員制度（高齢会員の退会防止と「生涯ロータリアン」化を支援）、家族会員制度（配偶者やご子息などの入会を促進し、他団体流出を防止）・WEB 会員制度（対面参加が困難な方や遠方・転勤者を対象に）



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 簡 仁一（茨木 RC）

2022年7月から25年6月まで、第3地域の ARPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター補佐)を務めさせていただきました。

この3年間の活動において、携わり、最も心に残っているのが、世界ポリオデーイベントとして開催してきた「フォトコンテスト」です。

毎回、ポリオ根絶を願って展開された地区やクラブの活動、そして熱意を伝える様々な写真が寄せられてきました。

昨年の「RI 会長賞」受賞作は、仙台育英学園高等学校文化祭で、ポリオ根絶を訴えるチアリーディング部員の生き生きとした表情をとらえた「チアリーダーの『あと少し』」。ポリオ根絶まで「あと一歩」という思いがあふれるカットでした。この写真はもちろん、どの作品からも、ポリオ根絶への祈りが感じられ、魅せられたものです。



チアリーダーの「あと少し」 仙台東ロータリークラブ 仙台育英学園高等学校インターアクトクラブ

今年も、作品募集が始まっています。皆さんの願いを込めた多彩な写真をぜひ、お寄せいただければ、と思います。ロータリーは価値観を共有する人たちの集まりであり、会員の一人ひとりが広報マンといえるでしょう。私は、コロナ禍真ただ中の2020-21年度にガバナーを務めましたが、できること、できないこと、すべきこと、すべきではないことを模索する日々でした。この体験を通して、感じたのは、何かをすれば必ずリスクがある一方で、しないことによるリスクもあるのではないか、ということです。

今、改めて、「一人ひとりが広報マン」という意識を大切に、「フォトコンテスト」はもちろん、多彩なロータリー活動に取り組み、世の中とよい関係をつくっていければ、と実感しています。

3年間、ありがとうございました。皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、公共イメージ向上へのご理解が、さらに進むことを心から願っております。

出席報告（5月末日現在）・My Rotary 登録率

クラブ名	年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）
44	2032(173)	2039 (182)	15 (1)	6 (0)	2048(183)
	純増減（女性）	自クラブ出席率		当出席率（メイク含む）	
	16(10)	63.1%		74.0%	

クラブ名	回数	自クラブ出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）						メイク	出席率	MyRotary登録率 (6月23日現在)	
			年度初 (女性)	当月初 (女性)	新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)	純増減 (女性)				
第1分区	前橋	3	57.75%	118 (12)	113 (12)	4 (0)	0 (0)	117 (12)	-1 (0)	10	60.79%	88.03%
	前橋西	4	57.63%	60 (7)	59 (7)	0 (0)	0 (0)	59 (7)	-1 (0)	7	61.07%	86.44%
	前橋東	4	44.70%	50 (5)	52 (4)	0 (0)	1 (0)	51 (4)	1 (-1)	34	62.10%	79.25%
	前橋北	3	77.38%	81 (1)	81 (1)	0 (0)	0 (0)	81 (1)	0 (0)	0	77.38%	85.19%
	前橋南	4	70.62%	57 (5)	57 (5)	0 (0)	0 (0)	57 (5)	0 (0)	3	71.93%	82.46%
	前橋中央	2	86.56%	18 (4)	22 (5)	2 (0)	1 (0)	23 (5)	5 (1)	3	93.28%	82.61%
	合計		65.77%	384 (34)	384 (34)	6 (0)	2 (0)	388 (34)	4 (0)		71.09%	84.00%
第2分区A	桐生	3	47.69%	69 (11)	69 (11)	2 (1)	0 (0)	71 (12)	2 (1)	46	71.95%	90.14%
	桐生南	4	66.16%	38 (5)	37 (4)	0 (0)	0 (0)	37 (4)	-1 (-1)	17	78.43%	67.57%
	桐生西	4	53.92%	50 (11)	50 (11)	0 (0)	0 (0)	50 (11)	0 (0)	42	76.52%	97.96%
	桐生赤城	3	59.12%	39 (6)	40 (7)	0 (0)	0 (0)	40 (7)	1 (1)	26	82.38%	72.50%
	合計		56.72%	196 (33)	196 (33)	2 (1)	0 (0)	198 (34)	2 (1)		77.32%	82.04%
第2分区B	伊勢崎	3	77.05%	81 (5)	78 (5)	0 (0)	0 (0)	78 (5)	-3 (0)	22	94.37%	100.00%
	群馬境	4	91.67%	25 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	-2 (0)	0	91.67%	52.17%
	伊勢崎中央	4	81.82%	90 (8)	90 (9)	0 (0)	0 (0)	90 (9)	0 (1)	17	85.23%	83.33%
	伊勢崎南	3	90.67%	26 (2)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	-1 (0)	4	96.00%	100.00%
	伊勢崎東	3	73.53%	35 (3)	35 (3)	0 (0)	0 (0)	35 (3)	0 (0)	0	73.53%	100.00%
	合計		82.95%	257 (20)	251 (21)	0 (0)	0 (0)	251 (21)	-6 (1)		88.16%	435.51%
第3分区	高崎	3	48.04%	140 (10)	135 (10)	1 (0)	0 (0)	136 (10)	-4 (0)	81	67.89%	51.80%
	高崎南	2	56.52%	66 (9)	69 (11)	0 (0)	0 (0)	69 (11)	3 (2)	7	66.67%	41.43%
	高崎北	3	34.56%	77 (1)	76 (0)	0 (0)	0 (0)	76 (0)	-1 (-1)	51	58.06%	63.64%
	高崎東	4	63.03%	29 (2)	28 (3)	0 (0)	0 (0)	28 (3)	-1 (1)	10	72.59%	78.57%
	高崎シンフォニー	4	57.54%	46 (9)	45 (9)	0 (0)	0 (0)	45 (9)	-1 (0)	38	77.78%	100.00%
	高崎セントラル	3	58.76%	28 (0)	32 (0)	1 (0)	0 (0)	33 (0)	5 (0)	6	64.95%	54.55%
	合計		53.08%	386 (31)	385 (33)	2 (0)	0 (0)	387 (33)	1 (2)		67.99%	65.00%

クラブ名	回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイ ク	出席率	MyRotary 登録率 (6月23日現在)
			年度初 (女性)	当月初 (女性)	新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)	純増減 (女性)					
第4分区A	太田	4	47.75%	68 (2)	67 (3)	0 (0)	0 (0)	67 (3)	-1 (1)	10	51.11%	73.13%	
	太田西	3	83.33%	12 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	0 (0)	6	100.00%	50.00%	
	太田南	2	59.18%	43 (2)	49 (4)	0 (0)	0 (0)	49 (4)	6 (2)	10	69.39%	100.00%	
	新田	3	56.52%	23 (3)	23 (3)	0 (0)	0 (0)	23 (3)	0 (0)	3	60.87%	45.45%	
	太田中央	2	56.52%	44 (4)	46 (5)	0 (0)	0 (0)	46 (5)	2 (1)	8	65.22%	84.78%	
	合計		60.66%	190 (12)	197 (16)	0 (0)	0 (0)	197 (16)	7 (4)		69.32%	70.67%	
第4分区B	館林	4	72.94%	55 (4)	54 (3)	0 (0)	0 (0)	54 (3)	-1 (-1)	18	81.63%	83.33%	
	大泉	2	68.98%	26 (3)	26 (3)	1 (0)	1 (0)	26 (3)	0 (0)	15	88.94%	26.92%	
	館林西	3	47.22%	13 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	-1 (0)	2	52.78%	16.67%	
	館林東	2	75.00%	8 (1)	7 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	-1 (0)	3	100.00%	42.86%	
	館林ミレニアム	3	68.05%	28 (2)	28 (2)	1 (0)	1 (0)	28 (2)	0 (0)	7	79.11%	100.00%	
	合計		66.44%	130 (11)	127 (10)	2 (0)	2 (0)	127 (10)	-3 (-1)		80.49%	53.96%	
第5分区	渋川	4	75.89%	55 (5)	57 (5)	1 (0)	0 (0)	58 (5)	3 (0)	34	91.52%	74.14%	
	沼田	2	44.30%	72 (3)	79 (3)	0 (0)	0 (0)	79 (3)	7 (0)	11	63.92%	98.72%	
	草津温泉	0	0.00%	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0.00%	56.25%	
	中之条	3	84.44%	20 (0)	18 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)	-2 (0)	3	88.90%	100.00%	
	沼田中央	3	63.40%	49 (4)	50 (4)	0 (0)	0 (0)	50 (4)	1 (0)	9	69.55%	93.48%	
	渋川みどり	3	41.78%	42 (5)	50 (7)	0 (0)	0 (0)	50 (7)	8 (2)	13	51.21%	84.52%	
	合計		51.64%	244 (18)	254 (19)	1 (0)	0 (0)	255 (19)	11 (1)		60.85%	41.46%	
第6分区	富岡	4	88.73%	39 (3)	41 (3)	1 (0)	1 (0)	41 (3)	2 (0)	6	92.93%	76.74%	
	藤岡	3	75.84%	43 (3)	43 (3)	0 (0)	0 (0)	43 (3)	0 (0)	9	83.34%	53.45%	
	安中	3	41.94%	58 (3)	58 (3)	1 (0)	1 (0)	58 (3)	0 (0)	27	57.47%	57.14%	
	藤岡北	2	83.33%	8 (1)	7 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	-1 (0)	0	83.33%	76.32%	
	富岡中央	3	78.80%	42 (3)	38 (3)	0 (0)	0 (0)	38 (3)	-4 (0)	3	83.01%	71.43%	
	碓氷安中	2	64.28%	7 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	0	64.28%	66.67%	
	藤岡南	2	60.72%	22 (0)	21 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (0)	-1 (0)	5	78.58%	56.67%	
	富岡かぶら	3	48.89%	26 (1)	30 (3)	0 (0)	0 (0)	30 (3)	4 (2)	19	71.11%	62.48%	
	合計		67.82%	245 (14)	245 (16)	2 (0)	2 (0)	245 (16)	0 (2)		76.76%	62.48%	

新会員紹介



氏名 石倉 潤一
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年4月2日
 職業分類 旅客運輸業
 勤務先 十王自動車(株)
 役職 取締役会長
 推薦者 新井 良和、松島 郁夫



氏名 向井 知子
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年4月2日
 職業分類 ヘルスケア業
 勤務先 (株)中央三共
 役職 代表取締役
 推薦者 峯岸 則幸、丸山 ふでみ



氏名 高木 秀幸
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年4月2日
 職業分類 運送業
 勤務先 (株)高木運輸
 役職 代表取締役
 推薦者 小此木 正博、中川 一



氏名 鈴木 淳志
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年4月2日
 職業分類 肥料小売
 勤務先 (株)鈴木商店
 役職 代表取締役
 推薦者 小此木 正博、小澤 弘



氏名 吉田 努
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年4月9日
 職業分類 商業銀行
 勤務先 群馬銀行伊勢崎支店
 役職 支店長
 推薦者 小此木 正博、須藤 正也



氏名 斉藤 博之
 クラブ 伊勢崎 RC
 入会日 2025年6月4日
 職業分類 保険代理業
 勤務先 W総合保険(株)
 役職 代表取締役
 推薦者 高橋 弘幸、松島 郁夫さん



氏名 水出 宏英
 クラブ 渋川 RC
 入会日 2025年5月1日
 職業分類 金融
 勤務先 群馬銀行渋川支店
 役職 支店長
 推薦者 町田久



氏名 神宮 広全
 クラブ 高崎南 RC
 入会日 2025年6月3日
 職業分類 レンタル業(衣装)
 勤務先 (株)パルミーネ神宮
 役職 代表取締役社長
 推薦者 山口 大助、高山 雄介



氏名 渡邊 丈博
 クラブ 高崎 RC
 入会日 2025年6月5日
 職業分類 証券業
 勤務先 大和証券株式会社高崎支店
 役職 支店長
 推薦者 片山 政明



氏名 大石 尚
 クラブ 富岡中央 RC
 入会日 2025年6月5日
 職業分類 キャリアコンサルタント
 勤務先 Being働き方Doing
 役職 代表
 推薦者 佐藤 純代



氏名 鬼頭 佳宏
 クラブ 前橋 RC
 入会日 2025年6月17日
 職業分類 住宅建築
 勤務先 積水ハウス(株) 群馬支店
 役職 支店長
 推薦者 鴻田 敦

新会員入会実績報告（5月末日現在）

クラブ名	年度初	新会員 入会目標	新会員 入会実績	達成率	目標残
44	2032	124	129	104%	-5

クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率	
第1分区	前橋	118	2	16	-14	800.0%
	前橋西	60	5	1	4	20.0%
	前橋東	50	2	5	-3	250.0%
	前橋北	81	4	3	1	75.0%
	前橋南	57	5	2	3	40.0%
	前橋中央	18	3	7	-4	233.3%
	合計	384	21	34	-13	161.9%
第2分区A	桐生	69	5	4	1	80.0%
	桐生南	38	3	0	3	0.0%
	桐生西	50	3	1	2	33.3%
	桐生赤城	39	2	2	0	100.0%
	合計	196	13	7	6	53.8%
第2分区B	伊勢崎	81	5	6	-1	120.0%
	群馬境	25	3	1	2	33.3%
	伊勢崎中央	90	4	4	0	100.0%
	伊勢崎南	26	3	1	2	33.3%
	伊勢崎東	35	1	1	0	100.0%
	合計	257	16	13	3	81.3%
第3分区	高崎	140	8	4	4	50.0%
	高崎南	66	2	4	-2	200.0%
	高崎北	77	3	5	-2	166.7%
	高崎東	29	2	1	1	50.0%
	高崎シンフォニー	46	2	0	2	0.0%
	高崎セントラル	28	3	6	-3	200.0%
	合計	386	20	20	0	100.0%

クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率	
第4分区A	太田	68	5	3	2	60.0%
	太田西	12	3	0	3	0.0%
	太田南	43	2	7	-5	350.0%
	新田	23	3	0	3	0.0%
	太田中央	44	3	3	0	100.0%
	合計	190	16	13	3	81.3%
	第4分区B	館林	55	5	0	5
大泉		26	1	4	-3	400.0%
館林西		13	2	0	2	0.0%
館林東		8	2	0	2	0.0%
館林ミレニアム		28	1	3	-2	300.0%
合計	130	11	7	4	63.6%	
第5分区	渋川	55	1	4	-3	400.0%
	沼田	72	5	9	-4	180.0%
	草津温泉	6	2	0	2	0.0%
	中之条	20	1	1	0	100.0%
	沼田中央	49	2	2	0	100.0%
	渋川みどり	42	2	8	-6	400.0%
	合計	244	13	24	-11	184.6%
第6分区	富岡	39	2	4	-2	200.0%
	藤岡	43	3	1	2	33.3%
	安中	58	0	2	-2	200.0%
	藤岡北	8	1	0	1	0.0%
	富岡中央	42	2	0	2	0.0%
	碓氷安中	7	2	0	2	0.0%
	藤岡南	22	2	0	2	0.0%
	富岡かぶら	26	2	4	-2	200.0%
	合計	245	14	11	3	78.6%

*上記の数値は新会員入会者のみの目標および実績を表記しております。退会者数はカウントしておりません。
よって各クラブの現在の会員数を示すものではありません。

ガバナーより一言

地区としての運営方針を、
「クラブの視点、会員の視点の理解、共有し、クラブや会員にとって、価値ある存在となるよう双方向の情報交換を行い、地区運営に反映いたします。」

また、会員の皆様へのメッセージの冒頭に、
「組織において、その継続と発展は共通した課題だと考えます。その組織が、組織を構成するメンバー、存在する地域から必要とされ続けなければ、消滅する可能性が常にあります。ロータリーも例外ではありません。クラブの会員にとって魅力ある活動、クラブが存在する地域にとって価値あると認められる活動を通じて、必要な存在であり続けなくてはなりません。そのためには、普遍的な価値を守り、時代の趨勢に対応する知恵を見出し、変化を受け入れなければなりません。」
と掲げさせていただきました。

ここでのキーワードは、“価値ある存在”と“必要とされる”です。
地区は、クラブや会員にとって必要な組織なのか。価値ある存在になれるのか。歴代ガバナー、地区スタッフ、そして地区内会員が感じている距離感を少しでも減らしていくために、地区は何ができるのでしょうか。
双方向の情報交換とも掲げましたが、まず地区から皆様への情報提供を充実させていただこうと考えています。

ガバナー月信は、地区活動の前月までの報告と次月以降の発信、RI、日本のロータリーからの情報の伝達を主眼といたします。皆様にいち早くお伝えするべきと判断したものは、随時メールで発信いたします。

2840地区のホームページは、他の地区と比べても大変充実したコンテンツを提供しています。ですが、長年に渡り、必要とさせるものを加えてきたため、情報までのアプローチに少し難があるように感じました。
そこで、情報のグループ分けを行うとともに、トップページを整理します。また、ホームページを閲覧する可能性のあるロータリアン以外の方に向けて、必要と思われる情報に絞ってアプローチしやすくいたします。

会員向けのホームページの運用目標を、クラブの運営に資する地区リソースの提供とし、出前卓話を含めた人的リソースネットワークの構築を含んだ統合的なリソース集へと展開してまいります。

会員の皆様がロータリーについての何らかの情報を得ようとしたときに、ストレス無く情報を入手できるように、ご意見を伺いながら地区としての情報提供のシステムを構築してまいります。
そして、会員の皆様は、得られた情報をキーワードに、ロータリーを語っていただきたいと考えています。

ロータリーの友投稿規定について

 **ご投稿お待ちしております!**

『友』ウェブサイト内のフォームからお送りください。

コーナー名	説明	文章	写真	備考
ロータリー・アット・ワーク	ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください	150～600字程度	集合写真、カメラ目線の撮影は不可。活動の様子が分かる画質の良い写真を添付	活動日を記載のこと
友愛の広場	エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など	1,000字以内	集合写真、カメラ目線の撮影以外が望ましく、あれば添付。なくても可	
私の一冊	会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）でお願いします	320字以内		原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を明記
うちの子	自慢のペットを写真で紹介	100字以内	ペットそのもののアップの写真	ペットの名前を明記
パズルdeロータリー	数独、パズルを毎月順番に掲載。プレゼント応募の締切は、発行月翌月の10日くらい			
内外よろず案内	会員間の趣味の交換、催し物の案内など	200字以内		資料があれば添付
声	『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締切	150字以内		対象記事を明記
ロータリー俳壇・歌壇・柳壇	1人1カ月に1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名、お名前、電話番号を記入			はがき可

- * 投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます
- * 写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物および国際ロータリーのウェブサイト、出版物に掲載する場合があります
- * 掲載は、(一社)ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめぐりご判断ください

送り先・お問い合わせ

投稿フォーム
www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php



その写真、大丈夫ですか?～著作権と肖像権のお願い～

著作権とは、写真や文章などの作品を創作した人が持つ大切な権利であり、許可なく使用・転載することは法律違反となる可能性があります。肖像権は、個人の顔や姿を本人の同意なしに撮影・公開されないよう守る権利です。これらの権利を侵害すると、権利者の正当な利益を損ね、思わぬ法的トラブルに発展する恐れがあります。

投稿の際は、必ず関係する方の了承を得た上でご提供ください。他人のSNSからの無断転載は、厳にお控えください。なお、投稿に起因して発生したトラブルについて、(一社)ロータリーの友事務所は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ガバナー事務所よりお願い

■ガバナー月信に関して

- ・原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し竹中隆ガバナー事務所 (takenaka@rid2840.jp) まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- ・新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。
なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

■ガバナー事務所に関して

- ・ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前 10 時から午後 5 時となっておりますのでよろしくをお願いいたします。尚、原則として正午から午後 1 時までは昼休みとなっております。

■月信への寄稿のお願い

- ・毎月 1 日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第 2840 地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？
原稿締め切りは毎月 15 日になります。原稿を 15 日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます

表紙説明

三輪途道 MICHIYO MIWA

生まれ育った場所である下仁田町在住の彫刻家。30 代後半に病気で視力を失った三輪さんは、粘土を使った脱乾漆技法をアレンジした独自の手法で制作を続けている。視覚にかかわらず誰もが芸術を楽しめるような、触って鑑賞できる作品を手掛けている。

写真は製作中の三輪さん。



竹中 隆 ガバナー事務所

〒 371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F
TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841